第七号議案

電氣事業の能率且民主的運營について

（福岡縣提出）

（理由）

電氣事業の再編成が決定せられた今日各都道府縣が從來夫々系統の下に再編成實否の運動を展開して來た經緯を一擲し、電氣事業の運營を能率的且民主的なものにする爲、斷然取敢ず各都道府縣共通した問題として次の各項につき善處される樣要望する。

一、農事用電力を低廉豐富に供給するとともに、一般電氣工事負擔金の低減を圖ること

一、電源開發助成法の制定、電源開發金庫の設置等により資金の確保、開發コストの調整を圖ること

一、電力の絶對量不足に鑑み、當面自家用火力の運轉に對しても保證的措置を講ずること

一、離島及び僻地の電源增強及び開發を促進すること

一、公益事業委員會において料金調整、電力融通電源開發に關し強力な權限を行使し得るごとくすると共に、これが運用を一段と民主化するため對策を講ずること

一、新會社設立にあたつて經營陣容を刷新強化するため、ブロック別電氣事業委員會を設けること

一、再編成の實施過程において、電氣事業の運營に混亂を來し、供給力の減少、電源開發の澁滯、サービスの低下等をきたさないこと

一、新會社は當面施設の充實、改善に努力し、送電損失、擅用電力の減少をはかりもつて公共の福祉を增進すること

第八号議案

保健所に對する國庫補助金の増額について

（福岡縣提出）

（理由）

保健所は衞生行政の中樞機關であり、その機能の如何は公衆衞生の進及び國民の健康生活を左右する重要問題であるから、これが所費については國も軍點を置いて少くとも新設の場合は建築費、初辨費については二分の一、人件費に對しては精算額の半額を下らない補助金交付の予算措置を講ぜられたい。

第九号議案

行政事務再配分による保健所のあり方について

（福岡縣提出）

〔理由〕

行政事務再配分に関する地方行政調査委員會の勧告によれば保健所は市町村において設置経営することとなつているが、保健所は衛生行政の第一線機關でありその業務は結核、性病、傳染病等の予防行政、母子衛生榮養の指導等の助長行政のみならず、從來警察等の所管に屬していた衛生取締行政をも包含し、その領域は極めて廣汎多岐に亘り專門的醫學技術を中核とする特殊行政であり此等の業務を圓滑公正かつ綜合統一的に執行して行く爲には相當の廣地域を管轄する行政廳によつて設置経営されることが絶對に必要であると思料されるので從來通り縣に於て設置経営するよう措置されたく要望する。

第十号議案

上下水道事業の財源措置について

（福岡縣提出）

（理由）

傳染病予防等の防疫業務の完璧を期するためには環境衛生の向上改善が先決條件でありこれがためにはその基盤をなす上下水道の整備擴充は緊急を要する事業であるが從來多額の經費を要する關係上遲々として進まず且つ現在の市町村の財政力ではこれが急速なる整備は困難と思料されるので國庫補助の增額、起債認可の優先的取扱等の措置を考慮されたい。

第十一号議案

昭和二十六年度の地方財政について

（理由）

明年度地方予算は地方財政委員會の推計によれば五、八七〇億圓にして前年度に比し、一、〇〇〇億圓の増額を予想せられ從つて給與改訂法律改正及び公共事業費増加等に伴い地方において新たに財源を要する額七一二億圓にして之に對し既定經費の節約、地方税の増收、地方債の増收により充足方法を講ずるも尚前年度に比し一六〇億圓の平衡交付金の増額を要することとなるに不拘政府予算においては一、一〇〇億圓計上され前年度に比し僅かに五〇億圓の増額に過ぎず各府縣において經費の節減竝びに地方税徴收に一層の努力を致すも特定財源の裏づけなき地方費の増高に對處して地方財政を圓滑に運營することは極めて困難の見通しなるを以て平衡交付金の増額と地方起債額の擴大を強く要望する。

（兵庫縣提出）

議案第十二号

協議事項

神奈川県提出

一、道路損傷に対する改修費全額国庫負担について。

（説明）

近時の客観的状勢から交通量の増加により道路の損傷は甚だしく、これが補修費又は改修費については従来の国庫補助にては到底賄い得ないので、其の性質上国庫において全額負担されるべきものと思考されるので急速に措置されることを要望する。

議案第十三号

協議事項

神奈川県提出

一、児童福祉行政関係事業については地方財政平衡交付金制度によらず国庫補助金制度に改められたい。

（説明）

児童福祉行政の豫算については従来国庫負担金又は国庫補助金によつていたが、昭和二十五年度より平衡交付金に算入された為に現下の逼迫せる地方財政の現状にては以前の如き経費を得ることに困難を来し児童福祉法によつて保障された児童福祉行政の充分な措置を講じられない実状である。

加うるに生活保護費については補助金制度によつて事業を円滑に進めることが出来るので義務的経費である児童福祉費についても従来同様の補助金制度によるのが至当であると考へる。

第十四号議案

協議事項

神奈川県提出

一、市町村の非常勤消防団員及び水防団員の立候補禁止規定の改正について

（説明）

市町村の非常勤の消防団並びに水防団は消防組織法第十五条の二及び水防法第六条によりそれぞれ市町村の条例を以て設置されているがこれら消防団又は水防団は災害発生により隨時出動する義勇団体的性格を有し、その団員は、行政事務を担当する一般公務員とは全くその性格を異にしている。しかるに公職選挙法においてはこれら団員を一般公務員と同等の取扱をなし、立候補禁止の制限を加えている。かくて現行公職選挙法の下に来るべき地方選挙が行われるときは、この立候補禁止の制限のため団体の中堅幹部の大部分を失うに至り、延いて災害防除の完璧を期し得ない情況に立ち到るのである。よつて政府及び国会に対し、速かに公職選挙法第八十九条の規定の改正方を要望するものである。

協議事項

一、地方財政窮乏打解について

（福岡縣提出）

普通地方公共團体の自主化、健全財政確立が強く叫ばれて來たにも拘らず八大都道府縣の財政事情はさきの地方税法の改正並び施以來却つて不利な立場に置かれ地方財政平衡交付金制度の實施轉の機運さえ望み得ない實情にあるのである。

仍て本縣に於ては縣議會の決議をもつて別紙の通り中央に對し急遽これが打解策を要請する意向であるが同じ財政事情下にある郡道府縣にあつてもその各々の實態に應じて同樣の措置を執られるよう協議するものである。

昭和26年度地方予算推計概算

（単位 百万円）

区分	地方財政委員会案							
	普通		公営企業		国民健康保険		総額	
歳入								
地方税		208,722						208,722
国庫支出金		235,560		232		1488		237,240
普通補助金	33,487				1,488		34,946	
公共事業費補助金 普通（文教等を含む）	38,566		11				38,787	
公共事業費補助金 災害	34,782		221				34,782	
失業対策事業費補助	7,750						7,750	
地方財政平衡交付金	120,975						120,975	
地方債		48,500		13,000				61,500
使用料手数料其の他		36,751		27,809		20,486		85,056
普通	19,735		27,809		20,496		68,040	
特別	17,016						17,016	
計		529,533		41,041		21,944		592,518
歳出								
経常的経費		330,838		24711		21,944		377493

地方財政平衡交付金	120,975								120,975			
地方債		48,500		13,000						61,500		
使用料手数料其の他		36,751		27,809		20,486				85,056		
普通	19,735		27,809		20,496				68,040			
特別	17,016								17,016			
計		529,533		41,041		21,944				592,518		
歳出												
経常的経費		330,838		24,711		21,944				377,493		
給与費	135,039		7,855		1,508				144,402			
その他経費	195,799		16,856		20,436				233,091			
公共事業費		144,879		630						145,509		
一般	76,669		630						77,329			
災害	53,802								53,802			
失業対策事業費	14,378								14,378			
単独事業費		53,186		15,700						69,516		
普通	36,800		15,700						52,500			
特別	17,016								17,016			
計		529,533		41,041		21,944				592,518		

新規財政需要増加額に関する調

事項	増加経費	控除収入				差引地方財源所要額
		国庫補助金	起債	その他	計	
1. 給与ベース改訂による増	17.682	−	−	−		17.682
2. 年末手当支給に要する経費	5.801	−	−	−		5.801
3. 教職員の特別俸給表切替による増	2.267					2.267
4. 給与ベース改訂に伴う共済組合費の増	1.397	−	−	−		1.397
5. 公恩給費の増	1.312	−	−	281	281	1.031
6. 政府の施策に伴う地方経費の増	20.172	10.388	−	233	10.621	9.551
(イ) A系統の行政費	3.638			233	233	3.405
(ロ) B系統の行政費	16.543	10.388	−		10.388	6.146
7. 児童数人口等の増加に伴う地方歳出の増	2.517		−			2.517
8. 公債費の減	△3.268	−	−			△3.268
9. 地方選挙に要する経費	2.007	−	−			2.007
10. 臨時事業費の増	38.694	6.513	27.500		34.013	4.681
(1) 公共事業費 普通（文教を含む）	20.557	10.920	24.500		27.263	53
(1) 公共事業費 災害	6.759	△8.157				
(2) 失業対策事業費の増	8.378	3.750	3.000		6.750	4.628
(3) 単独公共事業費の増	3.000					
11. 使用料、手数料その他収入の増				1.804	1.804	1.804
〃 税収入の増加額の30%増				5.362	5.362	△5.362

(6) [illegible]	[illegible]	[illegible]				
7. 児童数人口等の増加に伴う地方歳出の増	2.517		−			2.517
8. 公債費の減	△3.268	−	−			△3.268
9. 地方選挙に要する経費	2.007	−	−			2.007
10. 臨時事業費の増	38.694	6.513	27.500		34.013	4.681
(1) 公共事業費 普通（文教を含む）	20.557	10.920	24.500		27.263	53
(1) 公共事業費 災害	6.759	△8.157				
(2) 失業対策事業費の増	8.378	3.750	3.000		6.750	4.628
(3) 単独公共事業費の増	3.000					
11. 使用料、手数料その他収入の増				1.804	1.804	1.804
12. 税収入の増加額の30%増				5.362	5.362	△5.362
計	88.581	16.901	27.500	7.680	52.081	36.500

この計数は、地方税法の改正、地方行政事務の再配分、災害復旧費全額国庫負担制度の確定及び本年度地方債発行計画の決定等により若干の変動がある。

3 交付金の総額及びその算定の基礎　（単位百万円）

1. 基準財政需要額	250.246
(1) 既定	221.760
(2) 新規	36.560 ----2表参照
(3) 節約	8.014
(4) 昭和26年度基準財政需要額見込額（(1)+(2)−(3)）	250.246
2. 基準財政収入額（208.722×70%）	146.105
3. 基準財政収入額が基準財政需要額を超える団体の当該超過額の合算額の見込額	4.736
4. 普通交付金の所要額 (1)−(2)+(3)	108.877
5. 交付金総額の所要総額 (4)×$\frac{10}{9}$	120.975

参考資料

地財委財第五号
昭和二十六年一月十一日

地方財政委員会委員長代理 委員 木村 満 司

内閣總理大臣 吉田 茂 殿

國の予算に計上する昭和二十六年度地方財政平衡交付金の總額に関し、客年十二月二十二日内閣大甲第三二五号をもつて意見を求められたことに対し次のように回答する。

記

一、さきに勧告した昭和二十六年度地方財政平衡交付金の總額千三百五十八億八千百万圓はその後國の予算案の確定等に因り、その算定の基礎に異動があつたことに伴い、これを千二百九億七千五百万円に修正、災害復旧費國庫負担制度、地方債発行計画等の帰趨に応ずる変更を留保する。

二、前号の交付金の總額は、地方財政の現況と、明年度における新規財政需要増加の状況とに勘み、少くともこれに相当する額を國の予算に計上せられる必要があると認める。若しこれを計上せられないときは、明年度の地方財政の窮乏は著しく、ひいては、地方住民の負担に混乱を来たし或いは政府諸施策遂行の障碍たらしめることを憂慮するものである。

一、昭和二十六年度地方財政平衡交付金總額算定の概要

二、昭和二十六年度基準財政需要額の總額　二五〇、二四六百万円

三、同　基準財政收入額の總額　一四六、一〇五

四、基準財政收入額が基準財政需要額を超える團体の当該超過額の合算額　四、七三六

五、普通交付金の所要額　一〇八、八七七

（一と二との差に三を加えた額）

交付金の所要總額　一二〇、九七五

（四の九分の十の額）

昭和26年度地方財政需要増加に伴う地方財源措置案

（単位百万円）

区分	金額		摘要
1 地方財源増加所要額			
(1) 給與ベース改訂による増	17682		
(2) 年末手当支給に要する経費	5801		
(3) 教職員給与の特別俸給表切替による増	2267		
(4) 給与ベース改訂に伴う共済組合費等の増	1397		
(5) 企思給費の増	1031		
(6) 厚生施設費補助その他國の施策に伴う地方負担額の増	9551		國庫負担金を伴っていた行政系統 3405 普通補助金を伴う行政系統 6146
(7) 小学校児童人口等の増加に伴う地方歳出の自然増	2517		國庫負担金を伴うもの及び従来國庫負担金を伴っていたものを除く。
(8) 公債費の減	△3268		
(9) 地方選挙に要する経費	2007		
小計	38985		
(10) 公共事業等に伴う地方負担の増	32181		
(イ) 普通（文教費を含む）		9637	
(ロ) 災害		14916	
(ハ) 失業応急事業費		4628	{ 労務費 1554 資材費 3074
(ニ) 單独公共事業費		3000	
合計	71166		
Ⅱ 右に対する財源的措置方法			

増	1.397		
(5) 公恩給費の増	1,031		
(6) 厚生施設費補助その他國の施策に伴う地方負担額の増	9.551		國庫負担金を伴っていた行政系統 3.405 普通補助金を伴う行政系統 6.146
(7) 小学校児童人口等の増加に伴う地方歳出の自然増	2.517		國庫負担金を伴うもの及び従来國庫負担金を伴っていたものを除く。
(8) 公債費の減	△3.268		
(9) 地方選挙に要する経費	2.007		
小計	38.985		
(10) 公共事業等に伴う地方負担の増	32.181		
(イ) 普通(文教費を含む)		9.637	
(ロ) 災害		14.916	
(ハ) 失業応急事業費		4.628	{ 労務費 1.554 資材費 3.074
(ニ) 單独公共事業費		3.000	
合計	71.166		
Ⅱ 右に対する財源的措置方法			
(1) 地方税の増収	17873		
(2) 地方債の増額	27.500		{ 公共事業費増加額並びに失業対策事業費單独公共事業費の増加額の一部を地方債の増額により充足するものとする。
(3) 地方財政平衡交付金の増額	15.975		{ 給与ベース改訂による増加額中学校及び警察消防職員に関するもの役員給与切替による増厚生施設費補助その他國の施策に伴うもの及び失業対策事業費の増加額の一部を地方財政平衡交付金の増額により充足するものとする。
合計	61.348		
差引不足額	9.818		
内 { 既定経費の節約	8.014		
内 { 税外収入等の増収	1.804		

別表第4

昭和26年度縣財政需要(義務的経費)増加に伴う財源状況調 (單位 千円)

福岡縣

区分	金額	
1. 財政需要増加所要額	千円	
(1) 給與ベース改訂による増	1.021.835	
(2) 年末手当支給に要する額	177.862	
(3) 給與ベース改訂に伴う共済組合交付金の増	35.998	
(4) 同 恩給費の増	55.782	
(5) 國の施策に伴う地方負担額の増	136.894	
(6) 公債費の増	27.532	
(7) 選挙に要する経費	38.500	
小計	1.494.403	
(8) 公共事業に伴う地方負担の増	425.517	
合計 (イ)	1.919.920	
2. 以上に対する財源		
(1) 地方税の増收	−	
(2) 地方債の増加	−	
(3) 地方財政平衡交付金の増	76.042	25年度の何々年度 1.596.889×99.000.000÷94.500.000

(5) 國の施策に伴う地方負担額の増	136.894	
(6) 公債費の増	27.532	
(7) 選挙に要する経費	38.500	
小　　計	1.494.403	
(8) 公共事業に伴う地方負担の増	425.517	
合　　計 (イ)	1.919.920	
2. 以上に対する財源		
(1) 地方税の増収	−	
(2) 地方債の増加	−	
(3) 地方財政平衡交付金の増	76.042	25年度の假決定額 $\frac{1.596.889 \times 99.000.000 - 94.500.000}{94.500.000}$(普通交付金
合　　計 (ロ)	76.042	
差引不足額 (イ－ロ)	1.843.878	

(註) 本表は昭和26年度に於て新に増加した経費に対する財政需要の増加額のみを計上したものであるので昭和25年度に於て不足する金額は含んでいない。

雑収入の使途に関する調　昭和２４年度決算

福岡縣

区分		総額	重複額	差引純計額	上中 特定財源たる収入 主要費目	上中 特定財源たる収入 金額	上中 一般財源たる収入
公企業収入	経常的収入	16.259.369	12.092.669	4.166.700	自動車修理工場収入	4.166.700	−
	臨時的収入	11.435.163	−	11.435.163	宝くじ発行益金	11.435.163	−
	計	27.694.532	12.092.669	15.601.863		15.601.863	−
財産収入	経常的収入	4.955.910	6.118	4.949.792	土地家屋貸下料、基金収入	4.949.792	−
	臨時的収入	−	−	−		−	−
	計	4.955.910	6.118	4.949.792		4.949.792	−
財産売払代金	経常的収入	5.829.605	−	5.829.605	土地売払代、物件売払代	5.737.732	91.873
	臨時的収入	3.538.204	−	3.538.204	竹木売払代、建物売払代	3.538.204	−
	計	9.367.809	−	9.367.809		9.275.936	91.873
負担金	経常的収入	22.157.387	128.210	22.029.177	道路損傷負担金、燈台負担金、気液見出駆除負担金	22.029.177	−
	臨時的収入	34.617.486	17.914.142	16.703.344	道路改築負担金、都市計画事業負担金	16.703.344	−
	計	56.774.873	18.042.352	38.732.521		38.732.521	−
分担金	経常的収入	−	−	−		−	−
	臨時的収入	−	−	−		−	−
	計	−	−	−		−	−
寄附金	経常的収入	27.421.785	21.482.415	5.939.370	農業普及事業寄附、教育費寄附	2.369.461	3.569.909
	臨時的収入	65.734.082	36.525.260	29.208.822	耕地鉱害復旧費寄附教育施設費寄附	29.208.822	−
	計	93.155.867	58.007.675	35.148.192		31.678.283	3.569.909
	経常的収入	107.948.444	107.948.444	−		−	−

負担金	経常的収入	22.157.387	128.210	22.029.177	道路損傷負担金、燈台負担金、鼠族昆虫駆除負担金	22.029.177	–
	臨時的収入	34.617.486	17.914.142	16.703.344	道路改築負担金、都市計画事業負担金	16.703.344	–
	計	56.774.873	18.042.352	38.732.521		38,732.521	–
分担金	経常的収入	–	–	–		–	–
	臨時的収入	–	–	–		–	–
	計	–	–	–		–	–
寄附金	経常的収入	27.421.785	21.482.415	5.939.370	農業善良事業寄附、教育費寄附	2.369.461	3.569.909
	臨時的収入	65.734.082	36.525.260	29.208.822	耕地鉱害復旧費寄附教育施設費寄附	29.208.822	–
	計	93.155.867	58.007.675	35.148.192		31.678.283	3.569.909
繰入金	経常的収入	107.948.444	107.948.444	–		–	–
	臨時的収入	189.059.806	119.647.077	69.412.729	競馬競輪場建設費繰入	69.412.729	–
	計	297.008.250	227.595.521	69.412.729		69.412.729	–
納付金	経常的収入	44.928.185	–	44.928.185	金庫納付職員恩給納付金	44.928.185	–
	臨時的収入	–	–	–		–	–
	計	44.928.185	–	44.928.185		44.928.185	–
物品売払代金	経常的収入	31.884.846		31.884.846	不用品売払代雑産物売払代	31.401.346	483.500
	臨時的収入	–	–	–		–	–
	計	31.884.846	–	31.884.846		31.401.346	483.500
繰越金	臨時的収入	477.648.882	477.648.882	–		–	–
雑入	経常的収入	129.932.668	5.425.928	124.506.740	貸付金、償還金、学校実習料、延滞金	103.950.120	20.556.620
	臨時的収入	20.255.754	–	20.255.754	耕地鉱害復旧費償還金、分譲住宅分譲代	20.255.754	–
	計	150.188.422	5.425.928	144.762.494		124.205.874	20.556.620
翌年度ヲ入繰上充用金	臨時的収入	–	–	–		–	–
合計	経常的収入	391.318.199	147.083.784	244.234.415		219.532.513	24.701.902
	臨時的収入	802.289.377	651.735.361	150.554.016		150.554.016	–
	計	1.193.607.576	798.819.145	394.788.431		370.086.529	24.701.902

別表第3

雑収入の使途に関する調　昭和25年度予算

（昭和25年12月31日現在）　福岡縣

区分		総額	重複額	差引純計額	仝上中 特定財源たる収入 主要費目	仝上中 特定財源たる収入 金額	仝上中 一般財源たる収入
公企業収入	経常的収入	33.794.300	27.777.700	6.016.600	自動車修理工場収入	6.016.600	−
	臨時的収入	−	−	−		−	−
	計	33.794.300	27.777.700	6.016.600		6.016.600	
財産収入	経常的収入	9.051.600	−	9.051.600	家屋、土地、庁舎使下料基金収入	9.051.600	
	臨時的収入	−	−	−		−	
	計	9.051.600	−	9.051.600		9.051.600	
財産売払代金	経常的収入	20.999.400	−	20.999.400	土地売払代物件売払代	12.252.100	8747.300
	臨時的収入	37.111.000	−	37.111.000	竹木売払代建物売払代証券売払代	37.111.000	−
	計	58.110.400	−	58.110.400		49.313.100	8.747.300
負担金	経常的収入	40.711.400	4340.000	36.371.400	道路損傷負担金路面復旧負担金	36.371.400	−
	臨時的収入	86,578.600	53.841.700	32.736.900	鉱害復旧負担金	32.736.900	−
	計	127.290.000	58.181.700	69.108.300		69.108.300	−
分担金	経常的収入	−	−	−		−	−
	臨時的収入	−	−	−		−	−
	計	−	−	−		−	−
寄附金	経常的収入	24.172.800	22.772.000	1.400.800	教育費寄附、蚕業指導費寄附	1.384.800	16.000
	臨時的収入	89.382.300	41.086.500	48.295.800	教育施設費寄附保健所庁舎施設寄附耕地事業寄附	48.295.800	−
	計	113.555.100	63.858.500	49.696.600		49.680.600	16.000
繰入金	経常的収入	89.156.100	89.156.100	0		−	−
	臨時的収入	185.801.400	110.578.500	75.221.900	鉱業特別基金(作業資金)	75.221.900	

負担金	経常的収入	40,711,400	4,340,000	36,371,400	道路損傷負担金路面復旧負担金	36,371,400	–
	臨時的収入	86,578,600	53,841,700	32,736,900	鉱害復旧負担金	32,736,900	–
	計	127,290,000	58,181,700	69,108,300		69,108,300	–
分担金	経常的収入	–	–	–		–	–
	臨時的収入	–	–	–		–	–
	計	–	–	–		–	–
寄附金	経常的収入	24,172,800	22,772,000	1,400,800	教育費寄附、畜業指導費寄附	1,384,800	16,000
	臨時的収入	89,382,300	41,086,500	48,295,800	教育施設費寄附保健所庁舎施設寄附 耕地事業寄附	48,295,800	–
	計	113,555,100	63,858,500	49,696,600		49,680,600	16,000
繰入金	経常的収入	89,156,100	89,156,100	0		–	–
	臨時的収入	185,801,400	110,579,500	75,221,900	競馬競輪益金(住宅復興資金)	75,221,900	–
	計	274,957,500	199,735,600	75,221,900		75,221,900	–
納付金	経常的収入	49,343,400	2,826,000	46,517,400	恩給納付金実習費納付金.弁償金及報償金	46,517,400	–
	臨時的収入	–	–	–		–	–
	計	49,343,400	2,826,000	46,517,400		46517,400	–
物品売払代金	経常的収入	42,528,200	–	42,528,200	雑産物売払代 物品売払代	42,142,600	385,600
	臨時的収入	19,349,400	–	19,349,400	不用品売払代	19,349,400	
	計	61,877,600	–	61,877,600		61,492,000	385,600
繰越金	臨時的収入	446,805,000	446,805,000	–		–	–
雑入	経常的収入	420,316,700	200,000,000	220,316,700	貸付金償還金金庫利子	195,171,700	25,145,000
	臨時的収入	96,751,000	–	96,751,000	災害分譲住宅分譲金、耕地鉱害復旧費 貸付金償還金.宝くじ売上基金	96,751,000	–
	計	517,067,700	200,000,000	317,067,700		291,922,700	25,145,000
翌年度入繰上充用金	臨時的収入	–	–	–		–	–
合計	経常的収入	730,073,900	346,871,800	383,202,100		348,908,200	34,293,900
	臨時的収入	961,778,700	652,312,700	309,466,000		309,466,000	–
	計	1,691,852,600	999,184,500	692,668,100		658,374,200	34,293,900

収支過不足

福岡縣

科目	区分		予算額	収入又は支出額			備考
				収入(支出)済額	今後収入(支出)見込額	計	
支出	現在額		10.584.142.700				
	今後	追加	429.094.718				
		更正	△ 64.057.770				
	計		10.949.179.648	5.737.043.217	5.212136.431	10.949.179.648	
支入	現在額		10.584.142.700				
	今後	追加	91.160.956				
		更正	△ 62.881.500				
	計		10.612.422.156	5.518343.646	4.022.678.510	9.541.022.156	
過不足(△)	現在額		0				
	今後	追加	△337.933.762				
		更正	1.176.270				
	計		△336.757.492	△218.699.571	△1.189.457.921	9.408.157.492	

○ 支入不足額　1.408.157.492円

○ 仝上に対する措置方法

1. 経費の節約　65.000千円

2. 事業の繰延べ　145.000千円

計　210.000千円

○ 差引支入不足額　1.198.157千円

昭和25年度決算見込額調（歳入）

昭和25.12.31現在　　福岡縣

科目	区分		予算額 A	収入済又は収入見込額			差引（A－B）	
				収入済額	収入見込額	計 B	事由	金額
1 縣税	現在額		2.757.088.800					
	今後	追加	－				災害に因る減収	24.600.000
		更正	－				滞納に因る減	50.000.000
	計		2757.088,800	1.370000.000	1.312.488.800	2682488.800	計	74.600.000
2. 地方財政平衡交付金	現在額		2.049.703.600					
	今後	追加	－					
		更正	－					
	計		2.049.703.600	1.437.200.000	159.689.000	1.596889.000	（当然減）	452.814.600
3. 公営企業及び財産収入	現在額		100.956.300					
	今後	追加	－					
		更正	－					
	計		100.956.300	27.561.710	73.394590	100.956.300		
4. 分担分及び負担金	現在額		127.290,000					
	今後	追加	－					
		更正	△ 11.600					
	計		127.278.400	22.049524	105.228.876	127,278400		
5. 使用料及び手数料	現在額		388.932.200					
	今後	追加	2.190.900					
		更正	△ 2.600.000					
	計		388.523.100	242.470.710	146.052390	388.523.100		
6. 國庫支出金	現在額		2.599.480.100					
	今後	追加	88.930.056					
		更正	△ 43.169.900					
	計		2645.240.256	1756.966.740	888.273.516	2.645.240.256		
7. 寄附金	現在額		113.555.100					
	今後	追加	40.000					
		更正	－					
	計		113.595.100	14.118387	99.476.713	113595.100		
8 繰入金	現在額		274.957.500					
	今後	追加	－					
		更正						
	計		274957.500	0	274.957.500	274.957.500		
9. 繰越金	現在額		446.805.000					
	今後	追加	－					
		更正	－					

4 分担金及び負担金	現在額							
	今後	追加	－					
		更正	△ 11,600					
	計		127.278.400	22049524	105.228.876	127,278400		
5. 使用料及び手数料	現在額		388.932.200					
	今後	追加	2.190.900					
		更正	△ 2.600.000					
	計		388.523.100	242.470.710	146.052390	388.523.100		
6. 國庫支出金	現在額		2599.480.100					
	今後	追加	88.930.056					
		更正	△ 43.169.900					
	計		2.645.240.256	1.756.966.740	888.273516	2.645.240.256		
7. 寄附金	現在額		113.555.100					
	今後	追加	40.000					
		更正	－					
	計		113.595.100	14.118387	99.476.713	113595.100		
8 繰入金	現在額		274.957.500					
	今後	追加	－					
		更正	－					
	計		274957.500	0	274.957.500	274957.500		
9 繰越金	現在額		446.805.000					
	今後	追加	－					
		更正	－					
	計		446,805.000	446.805.000	0	446,805.000		
10 雑収入	現在額		628.288.700					
	今後	追加	－					
		更正	－					
	計		628.288.700	201.171.575	427.117.125	628.288.700		
11. 縣債	現在額		1.097.085.400					
	今後	追加	－					
		更正	△ 17.100.000				(当然減)	
	計		1.079.985.400	0	536.000.000	536,000.000	起債未承認	543.985400
合計	現在額		10.584.142.700					
	今後	追加	91.160.956					
		更正	△ 62.881.500					
	計		10.612.422.156	5518343.646	4.022.678.510	9.541.022.156		1071.400.000

別表第2

昭和25年度決算見込額調(歳出)

昭和25.12.31日　　福岡縣

費目	区分		予算額 A	支出済又は支出見込額			差引 (A-B)	
				支出済額	今後支出見込額	計 B	事由	金額
1 議会費	現在額		45.835.400					
	今後	追加	1.056.000					
		更生	−					
	計		46.891.400	38.382.574	8.508.826	46.891.400		
2 縣廳費	現在額		911.632.400					
	今後	追加	37.199.000					
		更生	−					
	計		948.831.400	586.237.700	362.593.700	948.831.400		
3 警察消防費	現在額		32.351.600					
	今後	追加	−					
		更生	−					
	計		32.351.600	16.265364	16.086.236	32.351.600		
4 土木費	現在額		2.488.985.600					
	今後	追加	3.512.500					
		更生	−					
	計		2492.498.100	1.046.933.327	1.445.564.773	2.492.498.100		
5. 教育費	現在額		3.615.606.200					
	今後	追加	240.984.220					
		更生	−					
	計		3856.590.420	2501.596.691	1.354.993.729	3.856.590.420		
6 社会及び労働施設費	現在額		852.792.200					
	今後	追加	38.900.593					
		更生	△ 517.570	352.002.000	539.173.223	891.175.223		
	計		891.175.223					
7 保健衛生費	現在額		357.979.400					
	今後	追加	44.417.075					
		更生	−					
	計		402.396.475	102979.473	299.417.002	402.396.475		
8 産業経済費	現在額		1.588.735.400					
	今後	追加	22.087.350					
		更生	△ 60.940.200					
	計		1.549.882.550	807.259.206	742.623.344	1.549.882.550		
9 戰産費	現在額		6.011.200					
	今後	追加						
		更生						

	今後 更生	−						
	計	2492.498.100	1.046.933.327	1.445.564.773	2.492.498.100			
5. 教育費	現在額	3615.606.200						
	今後 追加	240.984.220						
	今後 更生	−						
	計	3856.590.420	2501.596.691	1.354.993.729	3.856.590.420			
6 社会及び労働施設費	現在額	852.792.200						
	今後 追加	38.900.593						
	今後 更生	△ 517.570	352.002.000	539.173.223	891.175.223			
	計	891.175.223						
7 保健衛生費	現在額	357.979.400						
	今後 追加	44.417.075						
	今後 更生	−						
	計	402.396.475	102979.473	299.417.002	402.396.475			
8 産業経済費	現在額	1.588.735.400						
	今後 追加	22.087.350						
	今後 更生	△ 60.940.200						
	計	1.549.882.550	807.259.206	742.623.344	1.549.882.550			
9 賦産費	現在額	6.011.200						
	今後 追加							
	今後 更生							
	計	6.011.200	3.918.093	2.093.107	6.011.200			
10 統計調査費	現在額	29.713.400						
	今後 追加	159.000						
	今後 更生	−						
	計	29.872.400	6.457.512	23.414.888	29.872.400			
11. 選挙費	現在額	65.210.400						
	追加	−						
	更生	−						
	計	65.210.400	45.129.369	20.081.031	65.210.400			
12 公債費	現在額	104.332.400						
	今後 追加	−						
	今後 更生	−						
	計	104.332.400	49.231.954	55.100.446	104.332.400			
13 諸支出金	現在額	458.554.300						
	今後 追加	40.778.980						
	今後 更生	△ 2.600.000						
	計	496.733.280	180.649.954	316.083.326	496.733.280			
14. 豫備費	現在額	26.402.800						
	今後 追加	−						
	今後 更生	−						
	計	26.402.800	0	26.402.800	26.402800			
合計	現在額	10.584.142.700						
	今後 追加	429.094.718						
	今後 更生	△ 64.057.770						
	計	10.949.179.648	5.737.043.217	5.212.136.431	10.949.179.648			

別表第1

昭和24年度と昭和25年度に於ける税收見込対照表

税種	昭和24年度収入高	昭和25年度収入見込額	摘要
事業税	927.618.290	1.233.804.400	
特別所得税	40.705.803	53.000.000	
入場税	384.226.190	751.000.000	
遊興飲食税	219.640.402	351.000.000	
小計	1.572.190.685	2.388.804.400	
自動車税	60.333.833	76.000.000	
鉱区税	9.817.857	17.800.000	
漁業権税	417.825	693.000	
狩猟権税	4.779.301	9.900.000	
特別遊興飲食税	-	30.000.000	
県民税	473.758.996	-	
地租	151.436.059	-	
家屋税	191.314.696	-	
鉱産税	117.038.194	37.310.000	
入湯税	447.500	136.000	
電気ガス税	122.653.566	60.000.000	
木材引取税	4.601.877	1.079.400	
その他従来旧法に依る税收	573.949.433	135.366.000	

小　　計	1.372.190.683	2.388.804.400	
自動車税	60.333.833	76.000.000	
鉱区税	9.817.857	17.800.000	
漁業権税	417.825	693.000	
狩獵権税	4.779.301	9.900.000	
特別遊興飲食税	—	30.000.000	
縣民税	473.758.996	—	
地租	151.436.059	—	
家屋税	191.314.696	—	
鉱産税	117.038.194	37.310.000	
入湯税	447.500	136.000	
重気ガス税	122.653.566	60.000.000	
木材引取税	4.601.877	1.079.400	
その他及び旧法に依る税收	573.949.433	135.366.000	
小　　計	1.710.549.137	368.284.400	
合　　計	3.282.739.822	2.757.088.800	

特にこの大きな財源不足を生じた根本原因は先に掲げた通り新規に増加する経費に対する縣負担分の顕著な増加が重要なる原因であり就中給与ベースの改訂に伴う負担額の増加はその最たるものである。この点に関し政府の見解と地方との実情は必ずしも一致してないかの感を深くするものである。

即ち政府職員は一、〇〇八円の平均額の範囲内を以て調整出来得るのに対し地方はるかにオーバした平均額となっている実情について此の際究明するところがなければならないと考えられるのである。

現在の公務員の給与体系は本俸、家族手当及び勤務地手当の合算額を以て成り立っているのであるが特に今回切替の対照となった本俸については、その号俸は、学歴、勤続年数を重視した生活給的性格を帯びて居り特に同一学歴の者と勤続年数に於て非常な差異を生じているのである。之等の職員について今回切替られた新俸給は、多分に身分給的性格を帯びて居り下に薄く上に厚い待遇改善が実施することを建前としている関係上この外に更にその勤務する職員の構成態様に依って著しい差異を生じて居るのである。

これらの顕著な例として各府縣の人的構成の大部分をしめる教職員の実態は中央の予想を遥に突破して居り、之等の職員に対する人件費の飛躍的増加に対して之を地方の独自の財源を以て補塡せんとすることは事体既に大きな矛盾があるのであり、此の際再度地方財源の再検討を行う必要に迫られていると云っても過言ではない。

然しながら当面緊急の問題としては之が実態を正確に認識されることに依って地方の財源を早急に

確保するための手段として平衡交付金の増額及び地方債の枠の拡充を図らなければならないとするものである。

以上の説明に依り福岡縣の財政の状況並にその問題点について御了解を得たことと信ずるのであるが問題は地方財政平衡交付金に付て昭和二十五年度に於て過般の国の補正予算に於ける三十五億円の増額並びに昭和二十六年分に於て僅に十五億円の増額を以てしては地方財政の窮情は到底打開出来ないということであつて緊急に国会並に政府におかれては地方財政が如何に困窮に陥りつつあるかその実態を見極められんことが為昭和二十五年度並びに昭和二十六年度国家予算に於て地方財政平衡交付金の増額、起債枠の拡大の措置を採られたいのである。

暫定予算か或は人件費のみの骨格予算を以て糊塗している実情であつて地方財源の中核をなす平交付金の確保如何は地方住民の福祉に繋がる最重要事であるが故に全国の地方政治に携はるものの等しく刮目しているところであり国会並びに政府の格別の御盡力と御高配を切望して熄まない次第である。

昭和二十六年二月　日

計上して成行をみると云う線に止まらざるを得ない状況であるにかかわらずその財政需要額は

一、人件費		四六〇八、三一五千円
	一般職員	九〇四、二二五千円
	教職員	三、七〇四、〇九〇千円
二、公共事業負担額		一、二四六、八四二千円
	災害復旧	五八〇、〇七〇千円
	一般事業	六六六、七七二千円
三、失業対策事業負担額		四七、四六二千円
四、法令等に依る義務経費		一、三五三、二四七千円
計		七、二五五、八六六千円

となつて居るのに対して一方財政収入額の見透しは次の如くである。

一、県税	二、六八二、四八九千円
二、平衡交付金	一、六七二、九三一千円
三、起債	三二一、〇〇〇千円
四、その他雑収入	一一、九九九千円
計	四、六八八、四一九千円

結局差引財源不足額は二、五六七、四四七千円に上ることが予測されるのであつて如何にして收支の均衡を保持するかに万策盡きた形である。

昭和二十六年二月

地方財政窮乏の打開に関する陳情書

福岡縣議會

地方財政窮乏打開に関する陳情書

一、地方自治体はその存立の基盤を國にもち、國は又地方自治体を自らの中に抱擁育すべき立場に在り國政と地方自治政は表裏一体唇歯輔車の相関々係に在り而かも地方自治政の事務の国家に属する処の大半が国民の権利義務に関する日本国憲法の規定の具体的保障履行のために国において制定された各種法令によって規定され義務づけられている現情に鑑みるとき国と地方自治体の関係は決して相互に利害相対立し責を他に転じて顧みざるが如きものに非ず両者は常に相互一体共存の目的の下に国は地方自治体の特殊性を尊重しつつも終局的には自己に帰属すべき所謂運命の協同体に立つべきものであると地方議会は信ずるのである。

二、叙上新地方自治制度が確立せられ従来の中央集権体制より地方分権制へと国政民主化の基礎的要件としての地方自治制の拡充、教育委員制の創設、自治警察自治消防制の開設等地方自治制の飛躍的進展を図り、地方自治制の民主化を徹底し更に地方自治事務の拡充が行われ各税の法令によって、国が地方自治体の行政として賦与し、委任するものは日を追って繁多を加えつつあり地方議会としても地方住民の総意に立って而かも国政の円滑なる進展を協力助長する見地に立って、之が職責の遂行に心臓を砕きつつある実情に在るのである。併し如何に地方自治制の拡充を図るもその根幹を為す地方財政制の裏付なくしては国が自ら企つる地方自治制の確立は到底ありえないことは自明であって特に過般国によって行われた地方財政平衡交付金法の創設新地方税法の改訂等が行われて

三、立法当初に当つては相当地方自治確立の基本的要件としての地方財政の自主、独立性の確保を指向したらその後の各般状勢の変化に即応することこれ等制度の改訂を無視し或るものはその運用が国の一方的利益の為に濫用せられ、或るものは地方住民の負担を加重して地方住民は勿論地方議会の地方自治に対する熱意を疎喪せしめるが如き事態に在ることは国政と地方自治政の円滑なる発達の為極めて寒心に堪えざる処である。地方議会は決して地方自治制の発展のみを所期し国政への協力を拒否し以て独善的態度に拘泥するものではない。地方自治の円滑なる発達なくして国政伸展の根基を培養することは不可能なりと信ずるが故に今日の情勢を慶うるものである。

国並に政府は自ら制定したる法令の遵守実行について国政と地方自治制の綜合的観点に立ち徒に地方自治体の一方的責任に負荷することなく自らも遵法しその責任を痛感することこそ法治国家の本領に添うものでなければならない。地方自治体の独自の運用に委せられた各種地方税制の運用に付ては、地方議会は万全の体制を樹立すべく努力するか国と地方自治体の双方の責任に於いて共力して運用せらるべき地方税財政制度の運用に付ては地方自治体としてもその責任の一端を当然負担すべきであると共に国も又地方自治体の健全な発達、国政民主化の円満なる伸展を所期するならばその運用に付て十分その責任を感ずべきである。

三、地方自治事務の法令による拡充転移と共に従来の国政事務の重要な内容たりしものは次々に地方自治体の業務となるにつれ地方財政の負担は益々加重せられることは又当然のこととは言え然らば之に伴う財源措置が充分国に於て行われつつあるかと言うに決して行われているとは言い難く

自治事務の加重と財源の欠乏の乖離は益々烈しくなりつつあり、地方住民の各種要望の如きも、始んど法令事務国の施策業務遂行の為犠牲に供する情況で地方住民をして失望せしめ地方予算の独自性、固有性を喪失し国土の保全、新警察制度の実施、社会福祉制の実施、新学制の実施、戦災復興等の如き当然国に於て考慮せらるべき諸経費は今や地方自治体の財政の大半をとむるの現情であり従つて国家財政に於て行われつつある財政規模の縮少とか減税による国民負担軽減等の措置が地方財政に於て行われ得ざるの理由は特にわの如き実情に由来するものであることを十分認識せられなければならない。

以上述べ来つた如き地方財政の実態が国に於て十分認識せられ論議が徹底するならば国の財政と地方財政の間に於ける相互の調整は深き理解と協力の上に行わるべきと信ずるものである。

四、然るに最近行われたる国家公務員給与制度の改訂、年末手当制度の創設、その他の国の施策の新規実施に伴う地方財政の負担は昭和二十五年度の年度の大半を経過したる時期に於て地方自治体としては全く予期せざる新事態であつて、地方財政計画は全く根底より覆えさるるの余儀なきに至り地方財政を窮乏の上に窮乏を加重せしめ一大混乱を惹起せるもので国に於てはこの事態を如何に考えらるるか、今や地方自治体は昭和二十五年度予算の収支均衡保持の方途を喪い更に昭和二十六年度予算編成の途を閉ざされ、地方財政は再び茲に崩壊の危機に突入せざるを得なくなつたのである。

地方議会は茲に真剣にこの表情を訴え今日まで国に於て論議せられつつある諸点が現実に於て如

何なる採相にあるかを重ねて検討纏説し国会並びに政府は之に対する眞攻なる考察検討を加えられ速かなる善処の行われんことを三百五十万縣民を代表して福岡縣議会は強く要望するものである。

(1) 昭和二十四年度の縣税徴収実績と昭和二十五年度以降に於ける縣税収入見込高について

過般第八臨時国会に於て制定された新地方税法は地方財源の劃期的な拡充を図り地方公共団体に対し自主的な財源を大幅に移譲することを趣旨と致して居るのであるがに於ては確かに地方の財源は増大しそれだけ地方自治体の財政力を鞏固にしたことは事実であるが仔細にその内容を検討してみるときその財源の配分は非常に偏倚した実態を現して居るのである。即ち特定の団体に対しては財源過剰的現象に在る反面、一方には極端なる枯渇状態を現出して居るのであるが地方団体の財源を綜合集計する場合之等の単純なる集計をもって国の財源と対照されることは或る団体の収入を以て他の団体の収入に充て得ない現実的な矛盾を等閑に附する結果ともなるのであって甚だしい不合理と謂うべきである。

福岡縣の場合昭和二十四年度に於ける縣税収入見込額と昭和二十五年度に於ける縣税徴収実績との対照表は別表第一の通りであり 五二五、六五一、〇二二円の不足となっているのである而して縣税の四大主要税目たる事業税、特別所得税、入場税、遊興飲食税のみについて比較対照した場合八一六、六一三、七一五円の増収となっている反面に於てその他の税種に於ては一、三四二、二六四、七三七

円の減収となつているのである。このことは特に確実に賦課徴収出来る税種を矢つて最も徴収の困難な而も景気の変動に左右され易い税を与えられた上に尚前記の通り五億円以上の減収を見込まれるのであり昭和二十六年度以降に亘つても一層の徴税努力を傾注するを要するところである。而して本年はこの外に特に徴税が年度下半期に集中し国、地方自治体、各相互間に税の競合が生じて居る現状に於ては例年以上の滞納を来すことも予想されるのであつて財政的にも一層困難の度を深めている実情である。

(2) 昭和二十四年度の剰余金について

大蔵省側では地方公共団体は昭和二十四年度決算等において六十数億円の剰余金が出て居り必ずしも窮迫しているとは断じ難い　この財源は全額翌年度の財源として昭和二十五年度に使用出来るではないかと云う様な見解を持つている様であるがこれは余りに早急な結論と云うべきである。御承知の通り決算剰余金はその内容を分類してみると継続事業、逓次繰越財源及び事業繰越の特定財源を控除した残額が一応純然たる剰余金と認められるものであるがこの剰余金と雖も少しくその内容に立ち入つて検討した場合地方団体がその必要とする行政事務を満足に遂行した後に生じたるものか必要最少限の行政すら満足に施行出来ずに生じたものかを分析してみる必要があるのである。

福岡県の昭和二十四年度剰余金は四四六、八〇五、〇〇〇円であるがその内

一般会計　二八、四〇〇円

特別会計　一二、四八〇、七四一円

計　一二、五〇九、一四一円

の継続費逓次繰越財源充当額が含まれているのである。この分を控除すれば純剰余金と目されるものは三七二、〇四一、七五九円であるがこの財源は本年度の貴重な財源としてすでに全額を年度前半に於て予算に計上しているところであるので年度末切迫して之を余剰財源として給与費の改訂等の財源に充当することは全く不可能である。

(3) 昭和二十五年度の決算見込について

この外更に一般会計に於て六二、二五四、一

第九臨時国会に於て国の補正予算措置に関連して地方財政委員会は地方公共団体の

1. 給与関係増加額　一三、八五五、〇〇〇千円
2. 平衡交付金及び起債決定後法令の制定改正等に依る財政需要の増加額　一〇、七九六、〇〇〇千円
3. 災害関係その他新規臨時的経費　一二、七六六、四七五千円
4. 政府補正予算による増加額　一、二四八、六九六千円

計　三八、六六六、一七一千円

財源措置方法として

1. 地方自治体に於ける経費の節約
2. 地方債発行額の増額
3. 地方財政平衡交付金の増額

計　三、九九八、〇〇〇千円

を以て措置さる様政府に対し要望したのであるがその結果は平衡交付金の三十五億円の増額の外何等有効なる措置を執らるるに至らなかつた経緯は既に衆知のところでありこれがため地方自治体は極度の財源難に陥り本年度の決算に対する見透しは皆目樹て得ない窮状に追い込まれたのである。

二一、五〇〇、〇〇〇千円
一三、一六八、一七一千円
三八、六六六、一七一千円

福岡縣の場合本年度の十二月末現計予算は公営企業分を除き一般会計、特別会計、継続費逓次繰越分を含め一〇、五八四、一四二、七〇〇円でありその内容は別表第二の通りとなつている。

この経費は既定予算において経常費の一割節約を実施したものであつて年度内の緊要経費のみであり更に将来追加更正を要するものとしては

ベース改訂費　二五二、六一九、〇〇〇円
学校職員認定講習旅費　二五、三八八、九二〇円
引揚者住宅疎開費　二五、九二四、二〇〇円
庶民住宅建設事業費追加　八九、六四八七五円
傳染病予防等保健衛生費　四四、四一七、〇七五円
耕地及干拓災害復旧費　八、四六二、二〇〇円
町村吏員恩給組合補助　三二、六〇二、七〇〇円

山林災害復旧費　　△　六〇、九四〇、二〇〇円

等が主なるものであつて全額緊急差措き難い義務費のみで三六五、〇三六、九四八円を要するのに対し一方歳入の面に於ては既定予算に於て

平衡交付金の減収　　四五二、八一四、六〇〇円

縣債の未承認分　　五四三、九八五、四〇〇円

縣税の滞納及び減収　　七四、六〇〇、〇〇〇円

計　　一、〇七一、四〇〇、〇〇〇円

の不足を生じ更に今後の年度内緊急追加経費に対する財源は

負担金　△　一、六〇〇円

使用料手数料　△　四〇九、一〇〇円

国庫支出金　　四五、七六〇、一五六円

寄附金　　四〇、〇〇〇円

縣債　△　一七、一〇〇、〇〇〇円

計　　二八、二七九、四五六円

に過ぎない実情であるので追加経費に対する財源の不足は三三六、七五七、四九二円となり年度決算見込額に於て総額一、四〇八、一五七、四九二円の歳入欠陥を生ずることになる訳である。之が対策として一応

経費の節約　　六五、〇〇〇、〇〇〇円

事業の繰延べ
計　一四五、〇〇〇、〇〇〇円

を予想しているのであるが終局的には尚一、一九八、一五七、四九二円の不足を解消することは不可能でありこの十二億円に近い歳入欠陥に対する対策は縣独自の力を以てしては如何とも致し難い段階に立ち至つているのである。

(4)　地方公共団体の雑収入について

地方公共団体の財政需要を算定する場合大蔵省側としては雑収入は一般歳入とすべきものであるという見解が強く主張されて居る様であるがこれは国の予算と地方予算の根本的なる構成の相違であつて地方公共団体の雑収入はその大部分が事業に伴う特定財源として収入されているのである。福岡縣の場合この雑収入としての範疇に属するものは別表第三の通り公企業収入、財産収入、売拂代、負担金、寄附金、繰入金、物品売拂代、繰越金、雑入等であるがこの内一般歳入を含んでいるものは財産収入の内縣有地売拂代、寄附金の内一般縣費寄附、物品売拂代の内不用品売拂代、雑入の内貸付金償還金等を除いた純然たる雑収入及び金庫利子等であつて雑収入の総額に対する比率は

昭和二十四年度
三九四、七八八、四三一円に対し　二四七〇一、九〇二円　六%

昭和二十五年度

六九二、六六八、一〇〇〇円に対し　三四、二九三、九〇〇円　五%

の僅少なるものでありこのことは昭和二十六年度分についても同様である。

(5)　平衡交付金の配分方法について

地方財政委員会に於て平衡交付金を実際配分する場合の技術的なる方法に依り地方公共団体相互間の不均衡は是正され、地方公共団体としても財政の行詰りを打開することが出来るではないかと云う意見が一部に在る様であるがこのことは次の点に要約出来ると認められる。

(一)　府縣と市町村相互間の総枠の配分を適切にせよ

(二)　各種団体間の配分を適切にせよ

(一)については今次の新税法は市町村に対し特に多くの財源を配賦して居り且つ行政事務の再配分との関連に於ても相当の時期的ずれがあるので之を調整するため府縣に厚く平衡交付金を配分すべきであると云う趣旨と解されるのであるが問題点は府縣の事業税・市町村の固定資産税の集中現象にあるのであつて各団体個々に基準財政需要額を超過する団体を控除し残りの団体について財政需要額と収入額の各別集計をなしその差額を補塡する方法に依つている以上財源の附与が縁合集計の上に於て市町村に重く行つていると云うことは云えても個々の団体をとつて計算する場合は必ずしも府縣が軽く市町村が重いと云う結論は出て来ない訳である。

(二)の場合は全国一万有余の公共団体について一々立地條件も異りその規模も千差万別であるにもかかわらず劃一的な計算に依って算出する方法が執られている以上勢いその計算の方法は平均数値に依らざるを得ない実情であるため各団体に対し之が満足なる配分を期待することは至難であるが遂次改善されることを期待している。

唯ここにその双方の希望を満たすための必要最少限度のプール資金としての総額を先づ確保する措置を現段階に於ける最緊要事としている実情はこれらの少異を越えて地方公共団体共通の総意である。

之を要するに地方財政平衡交付金が個々の地方自治体の財政実態に即応して公平に配分せらるべきは当然であるが一定額配分の衡平化によって期し得る財政需要の充足も限度の存するもので莫大なる新規財政需要の増加に対しては到底これのみによって問題は解決され難いのである。

(6) 昭和二十六年度県財政の見透しについて

福岡県の昭和二十六年度に於ける新規増加経費の内容は別表第四の通りであり結局本年度より以上に財政の窮迫を告げることを予想される次第である。

県としても之が対策のため慎重なる計画を樹立する必要に迫られているのであるが何としても全歳入の五〇%以上を中央に依存している現実の段階に於ては政府の諸施策に依って地方財政に極度の影響を来して居るので結局のところ政府の年度予算の確定を見るまでは一応人件費と義務的経費を

計上して成行をみると云う線に止まらざるを得ない状況であるにかかわらず其の財政需要額は

一、	人件費	四、六〇八、三一五千円
	一般職員	九〇四、二二五千円
	教職員	三、七〇四、〇九〇千円
	公共事業負担額	一、二四六、八四二千円
	災害復旧	五八〇、〇七〇千円
	一般事業	六六六、七七二千円
二、	失業対策事業負担額	四七四、四六二千円
三、	法令等に依る義務経費	一、三五三、二四七千円
四、	計	七、二五五、八六六千円

となつて居るのに対して一方財政収入額の見透しは次の如くである。

一、	県税	二、六八二、四八九千円
二、	平衡交付金	一、六七二、九三一千円
三、	起債	三二一、〇〇〇千円
四、	その他雑収入	一、一一一、九九九千円
	計	四、六八八、四一九千円

結局差引財源不足額は二、五六七、四四七千円に上ることが予測されるのであつて如何にして収支の均衡を保持するかに万策盡きた形である。

特にこの大きな財源不足を生じた根本原因は先に掲げた通り新規に増加する経費に対する顕著な増加が重要なる原因であり就中給与ベースの改訂に伴う負担額の増加はその最たるものである。この点に関し政府の見解と地方との実情は必ずしも一致してないかの感を深くするものである。

即ち政府職員は一、〇〇八円の平均額の範囲内を以て調整出来得るのに対し地方はるかにオーバした平均額となっている実情について此の際究明するところがなければならないと考えられるのである。

現在の公務員の給与体系は本俸、家族手当及び勤務地手当の合算額を以て成り立つているのであるが特に今回切替の対照となった本俸については、その号俸は、学歴、勤続年数を重視した生活給的性格を帯びて居り特に同一学歴の者と勤続年数に於て非常な差異を生じているのである。之等の職員について今回切替られた新俸給は、多分に身分給的性格を帯びて居り下に薄く上に厚い待遇改善を実施することを建前としている関係上この外に更にその勤務する職員の構成態様に依つて著しい差異を生じて居るのである。

これらの顕著な例として各府縣の人的構成の大部分を占める教職員の実態は中央の予想を遥に突破して居り、之等の職員に対する人件費の飛躍的増加に対して之を地方の独自の財源を以て補塡せんとすることは事体既に大きな矛盾があるのであり、此の際再度地方財源の再検討を行う必要に迫られているとまでも過言ではない。

然しながら当面緊急の問題としては之が実態を正確に認識されることに依つて地方の財源を早急に

確保するための手段として平衡交付金の増額及び地方債の枠の拡充を図らなければならないと信ずるものである。

以上の説明に依り福岡縣の財政の状況並にその問題点について御了解を得たことと信ずるのであるが問題は地方財政平衡交付金に付て昭和二十五年度に於て過般の国の補正予算に於ける三十五億円の増額並びに昭和二十六年分に於て僅に十五億円の増額を以てしては地方財政の窮情は到底打開出来ないということであつて緊急に国会並に政府におかれては地方財政が如何に困窮に陥りつつあるかその実態を見極められ之が為昭和二十五年度並びに昭和二十六年度国家予算に於て地方財政平衡交付金の増額、起債枠の拡大の措置を採られたいのである。

地方公共団体としても国の如く自主的に年間の財政計画を策定して之が実施に移し得る様な恵まれた団体は極めて僅少であつてその財源の大半を中央に仰いでいる現状においては勢いその日暮しの暫定予算か或は人件費のみの骨格予算を以て糊塗している実情であつて地方財源の中核をなす平衡交付金の確保如何は地方住民の福祉に繋がる最重要事であるが故に全国の地方政治に携はるものの等しく刮目しているところであり国会並びに政府の格別の御盡力と御高配を切望して熄まない次第である。

昭和二十六年二月　日

FEB 2 1951

FUKUOKA PREFECTURAL GOVERNMENT

February 1, 1951.

TO: Chief of Kyushu Liaison and Coordination Office

FROM: Chief of External Affairs Section

SUBJECT: Report on the proceedings of a city assembly

We would submit a report to your office on the proceedings of the Moji Municipal Assembly as presented by the Local Affairs Section of our government as per attached.

Joji Udo

Joji Udo
Chief of
External Affairs Section

YS/ko

1. Name of the Council: Moji Municipal Assembly

2. Period of the Council: January 20 to 27

3. Agenda and the resolutions thereon:

(1) Conclusion of contracts for holding a municipal cycle-race.

Original bill was passed.

(2) A draft of "The Regulation of commissions chargeable on authorization and authorized certificates issued pertaining to the fire-service of Moji City" .

Original draft was approved.

(3) A draft of the amended budget for annual revenue and expenditure of Moji City for 1950 fiscal year.

Approved as drafted.

(4) A draft of the amended budget for water service annual revenue and expenditure in special account of Moji City for 1950 fiscal year.

Approved as drafted.

(5) Alteration of the amount and interest rate of a loan.

Approved as drafted.

(6) Abandonment of a loan flotation.

Approved as drafted.

(7) Settlement of annual revenue and expenditure in each account of Moji City for 1949 fiscal year, which was submitted for approval.

The settlement of all accounts was approved.

(8) Settlement of annual revenue and expenditure for "Tsunemi" Financial Ward of Moji City for 1949 fiscal year, submitted for approval

The settlement was approved.

YS/ko

FOREIGN AFFAIRS SECTION
KUMAMOTO PREFECTURE

FAS # 762,
13 April, 1951.

SUBJECT : Report of Prefectural Assembly Meeting for March

TO : Chief of Legal and Government Section,
Kyushu Civil Affairs Region

THROUGH : Kyushu Liaison Co-ordination Office

As regards the aforesaid subject, we beg to submit to you the monthly reports as of enclosure.

Yoshiyuki Matsushita

Yoshiyuki MATSUSHITA

Chief
Foreign Affairs Section,
Kumamoto Pref'l Gov't.

Kumamoto Prefectural Assembly

31 March, 1951

To : Commanding Officer,
Kyushu Civil Affairs Region.

Subject : Report on governmental activity.

We beg to report to you as per inclodure about the March regular session of Kumamoto Prefectural Assembly which was opened for 16 days from 8th to 23rd March, 1951.

Seisuke OKUBO

Chairman,
Kumamoto Prefectural Assembly

(inclosure)

Report on March regular session of
Kumamoto Prefectural Assembly

I. Time of opening: 10 a.m., 8th (Thurs.) March, 1951

II. Period of session: 16 days

1st day: Opening ceremony, introduction of bills, explanation of budget by governor.

2nd day:
3rd " : Recess for studying bills.

4th " : Sunday

5th " : The plenary session trusted Standing Committees with bills for the 1950 fiscal year, then the respective committees held their meetings.

6th " : Reports by chairman of standing committees, voting, establishment of special committee for recognition of settled accounts.

7th day)
8th ")
9th ") General interpellation
10th ")

11th " : Sunday
12th " : General interpellation
13th " : Meetings of committees
14th " : Vernal Equinox Day
15th " : Meetings of committees
16th " : Report by chairmen of standing committees, voting, clossing ceremony.

III. Number of assemblymen:

Fixed: 55 Present: 53

IV. Attendance: See annexed sheet No. 1

V. Agenda: See annexed sheets No. 2

VI. Outline of proceeding:

8th (Thurs.) March

Opened at 12.10, chairman greeted the assembly, declared opening of business and nominated the members for signing the journals.

Bills were introduced en bloc and governor explained the budget as per inclosure.

Closed at 12.35 after the announcement that the plenary session would be recessed on 9th and 10th for members' studying bills and resumed on 12th for discussion.

12th March

Opened at 11.22. Bills (Nos. 62 to 75) for 1950 fiscal year were committed to Respective Standing Committees. The plenary session was recessed at 11.25 for committee meetings.

13th March

Opened at 13.32. Each chairman of standing committee reported the process and result of investigation and unanimous approval of bills. Then the plenary session approved the reports unanimously.

It was motioned and agreed to establish a special committee for recognition of settled accounts of annual revenue and expenditure for 1949 fiscal year, in both general and special accounts. 10 members of the special committee were nominated by chairman. Closed at 14.45

14th March

Opened at 11.25 for general interpellation.

Q. - Morioka (Question by Mr. Morioka):

1. About 1951 fiscal year budget.
2. About the regulation of morale of officials.
3. About political activity by local public servants.
4. About farming, forestry and fishing industries.
5. About lightening the burden of taxation.
6. About the expenditure for roads maintained by the prefecture alone.

A. - Governor (Answer by Mr. Sakurai):

1. 1951 fiscal year budget was compiled as a skeleton budget; this is a different thing from my running for the gubernatorial election. I consider it adequate that it will be given flesh by the new governor.
2. I have made efforts for that. In the past 4 years, 27 prefectural officials were punished, including prosecution, under investigation, violation, dismissal and disciplinary punishment.
3. The fact that the union of employees of the prefectural government resolved on 12th February to recommend me for the next governorship had not been informed to me beforehand, but I think the act is not illegal.
4. My policies during the past 4 years were almost concentrated on the farming, forestry and fishing industries.
5. In the 1951 fiscal year budget, office expenses are cut off by about one third.

A. - Chief of Public Works Division:

6. Budgets for roads to be maintained by the prefecture alone are reduced by nearly 30 per cent. This is of course insufficient, but is inevitable due to financial reasons.

Q. - Futagami:

1. About the reorganization of Divisions and Sections of the prefecture government.
2. About exploitation of electric sources and development of industry.

3. How to make the most of the results of the industrial development plan.

4. About measures to develop dairying.

A. - Governor:

1. Reorganization of Divisions and Sections is expected in the near future, for there will be rearrangement of business accompanying the tax system reform. I think the reorganization should be in a synthetic direction, and so hope you will allow me a little more time. I am thinking the Forestry Division should be established immediately.

2. Exploitation of electric sources should be materialized immediately and led into synthetic exploitation so that surplus population can be absorbed into lime and vinyl industries.

3. The industrial development 4 year plan could in general achieve the expected out put mark of each industry; I wish to round up this rationally under an over-all plan for each village or town.

A. - Chief of Economic Division:

4. Dairying has kept steady progress, but at the present time the running of the industry is not quite satisfactory. So I wish to make efforts to bring forth the manufacture industry of dairy products.

With the above, the session was closed at 15/30

15th March

General interpellation was resumed at 11.30

Q. - Iwao:

1. About the synthetic expoitation of the Kuma district.

2. About financial measures as an economic policy.

3. About stockbreeding.

4. About counter-measures for second and third sons of farmers.

5. About education problems.

A. - Governor:

1. The exploitation plan is a gigantic synthetic plan centering on power generation. It will need more than 10 b billion yen in the construction of power facilities alone.

and so it requires sufficiently careful basic investigations and close collaboration of the local people. Therefore, I wish to continue investigations and make an effort to call out the collaboration of the local people.

2. I am of opinion that to speak fundamentally, administration, finance and enterprise have their own independent responsibilities respectively, but I have tried every possible collaboration, that is to say I have collaborated in the operation of annual account funds through the Central Commerce and Industry Financing Bank, the Credit Insurance Association and the Prefectural Federation of Credit Associations; and also in lending production facilities.

4. Counter-measures for second and third sons of farmers are a national problem. In this prefecture the situation is rather less serions. I believe there will comparatively soon be found a solution for the question by the final effects of the industrial development 4 year plan.

A. - Chief of Economic Division:

3. In stockbreeding, we are not content with an increase in number only. We are practivally contemplating to improve stocks, extend poultry-raising and set up factories to manufacture dairy products into goods.

A. - Superintendent of Education Board:

5. We will make efforts so that graduates from vocational schools can be of use in the world at once.
As for generalization of juxtaposition of special courses, we will consider after we see the results of those established this year.

Q. - Sonoda:

1. How will you make up the decrease of about ¥700,000,000 in annual revenue in the 1951 fiscal year budget?

2. About the stopping of subsidies to cities, towns and villages.

3. What measures do you adopt in road administration under the compressed budget for 1951 fiscal year?

4. About installing branches of the prefectural library.

5. About strengthening social education.

A. - Governor:

1. The overstimation in annual revenue in the 1951 budget is based on the assumption that the limit of floating

loans will be expanded and the assignment to this prefecture of the equalization fund will be increased.
To consider fundamentally, there should be a rearrangement of administrative business hand in hand with the tax reform; under the present situation, I think, the assignment of the equalization fund should of course be increased.

2. Stopping of subsidies to cities, towns and villages is chiefly because such subsidies were changed to assignments of the equalization fund or it became that there were no works; those stopped by reason of the budget compilation policy are only a few. For these we are ready to reconsider in future.

3. The compressed budget for road administration is really inevitable because of finance. We will make efforts to get most effect with least budget.

A. - Superintendent of Education Board:

4. Installation of branches of the prefectural library in necessary places is what we dream of and crave for, but the financial situation at present does not allow it.

5. We hope to improve and replenish social education officials.

Q. - Okazaki:

1. Has the governor no intention to appoint a sole chief of Labor Division?

2. How about establishing an evening university in the Jonan district?

3. How to treat the new Constitution in school education.

A. - Governor:

1. The post of chief of Labor Division will be filled up as soon as an adequate person is found.

2. If an evening university is established in the Jonan district, I hope to subsidize it.

A. - Superintendent of Education Board:

3. Because of the change in the situation in general from the time of the enactment of the new constitution, there has been given rise to the assertion of rearmament and so the question requires serious consideration. However, as long as the present constitution is existent, we have to exercise education in accordance with it. Changes in the situation are taught in lessons of social course.

Q. - Togami:

1. About road administration.

2. Have you no will to abolish the charges imposed on vehicle owners for damaging roads?

3. About forestry and reclamation.

A. - Governor:

1. I fully agree to your opinion that the completion of roads is indispensable for the present society. Although we are amidst an extreme financial difficulty, we will make every possible effort.

2. There seems to be a contradiction in your opinion in connection with the abolition of charges for road damages. In view of the present financial situation I consider the charges should be paid.

A. - Chief of Farmland Division:

3. It will be reasonable to think of improvement of already cultivated lands instead of reclamation of uncultivated lands at public expense, but reclamation is a national policy in order to increase the absolute amount of food production and to give a vocation to repatriates from overseas. The work was performed according to the reclamation program which was well-adjusted with forestry plannings.

A. - Chief of Economic Division:

3. As for forestry, demands are exceeding the growth of trees at present. So, in order to prevent devastation of lands, the Forestry Law was amended recently. There will no longer be encroachment on forestry by reclamation.

Q. - Kuramitsu:

1. About the stabilization of economy in farming villages.

2. About the improvement of roads.

3. About an increase in the number of agricultural technical guiders.

A. - Governor:

1. As for taxes on farmers, we are negotiating with National Tax Board and making efforts to adjust taxation principles so that previous allotments of quota may not be used as bases for taxation but taxation may strictly be based on actual incomes.

The rise in prices of fertilizers is our worry. We will actively assist farmers and take adequate steps such as assistance in acquiring funds, persuasion to prevent hoarding, negotiation with banking organs as regards the utilization of agricultural bills.

A. - Chief of Public Works Division:

2. As for the improvement of roads, we will make efforts after we studied the situation in other prefectures.

A. - Chief of Economic Division:

3. We also long to have an agricultural technical guider in each village and town.
But by reason of financial sources, the rate of subsidy for this purpose by the national treasury does not meet the actual requirement, and besides the allocation of the equalization fund lacks flexibility at present.
So we will make more efforts.

The session was closed at 16.33

16th March

General interpellation was resumed at 11.08

Q. - Tsutsumida :

1. About the improvement of treatment of teachers

2. About fishery problems

3. About fuel for fishing

4. About the circular road of Amakusa

5. About the repair of fishing ports

A. - Governor :

1. I express my thanks for your kind-hearted request for the improvement of treatment of teachers. As I had made efforts in the past, I have tried hard to do everything possible for that purpose in the 1951 budget, too. Towns and villages have as tight budgets as the prefecture; so the present situation prohibits me from asking for their financial collaboration.

2. The depression in sardine fishing is my worry. But as the scarcity of fish is considered to be a temporary phenomenon, we are trying to solve the knot from the financial side.

3. I too recognize the fact that we are facing a difficults situation as regards fuel for fishing. This is a national difficulty and cannot be relieved immediately. We are making efforts to extend the frame of allotment and to encourage utilization of substitute fuels.

4. The circular road of Amakusa is included in the synthetic exploitation program of Amakusa and so is being treated as an over-all problem.

5. As an investigation is being made about fishing ports, we hope to carry out the repair in turn.

Q. - Yamanaka :

1. Is the Governor not neglecting self-examination of his administration ?

2. Has the Governor sufficient recognition of the Local Public Service Law ?

3. About the relation between the political association formed by Teachers Union and the Local Public Service Law.

4. About sightseeing.

5. About construction of houses of lower rents.

6. About the actual situation of crimes in the prefecture.

A. - Governor :

1. The prefectural administration is continuously examined and reconsidered by the prefectural assembly every other month. As for the industrial 4-year plan. We are summing up the results.

2. That the governor inspects throughout the prefecture is not political activity but is prefectural administration.

3. Prefectural Employees Union is orgahized by prefectural employees who at the same time are citizens. So I consider their activity within the limit recognized by law is not objectionable.

4. I am sufficiently concerned about sightseeing. Sightseers are increasing year by year.

5. It has been informally decided to build 120 houses in 1951 fiscal year, and we are requesting the central government to build 500 houses as " shomin jutaku " (citizens' residenses).

A. - Chief of Police :

6. When seen from the number of crimes, the prefecture is not inferior to many other prefectures. But the prefecture ranks fifth in the crime of injury, tenth in homicide and 16th in violence.

Q. - Yoshimoto :

1. About social education :

2. About coastal embankments.

3. About Tasaki railroad-crossing.

4. About fishing in beaches.

A. - Governor :

1. I agree with you in longing for healthy development of women's associations, youths' associations and PTAs as reliable foundation for the reconstruction of democratic Japan. We will collaborate in this, fully taking into consideration the opinion of Education Board.

2. I hear that the central government is drafting a law concerning the management of coastal embankments. At present, the rule is that the prefecture, after passing a resolution, controls roads that are accompanied by national subsidies.

A. - Chief of Public Works Division :

3. Resultant from our successfull lobbying, Tasaki railway-crossing will be reconstructed at the cost of ¥ 75,000,000 of which ¥ 18,000,000 will be borne by the state railway, a half of the remaining ¥ 57,000,000 subsidized by the national treasury, and the other half borne by locally. Kumamoto city will bear a part of it. In the first year (1951), ¥ 20,000,000 is budgeted. The work is to improve 22 metres in width and 1,320 metres in length.

A. - Chief of Economic Division :

4. In view of the large ratio that beach fishing occupys in fishery in this prefecture, the prefectural fisheries experimental station is performing experiments in breeding. The prefecture has Seeds Raising Station, too. We will utilize these facilities and try to achieve good results.

Q. - Izumi :

1. About the exploitation of power source in the river-head of the Kuma.

2. About Hitoyoshi Branch of Prefectural Industrial Laboratory, and Prefectural Stockbreesing Farm.

3. About the road along the Kuma river.

4. About improvement of health sanitation in farming villages.

A. - Governor :

1. We are carrying on fundamental investigations. As the construction of the dam will submerge some villages,

the plan requires collaboration of the local people. We will take adequate steps after we have listened sufficiently to opinions of the people of the Hitoyoshi and Kuma districts.

A. - Chief of Economic Division :

2. In answer to your assertion to replenish Hitoyoshi Branch of Industrial Laboratory, I wish to say that although the branch cannot be said to have not fullfilled its function, its officials are busied solely in guidance on the spot. This may be regarded to be indicating the lack of investigation at the time of its establishment, and so requires sufficient consideration. Stockbreeding Farm is managed by Shinkokai (Promotion Association), and so we wish to encourage its good sides.

A. - Chief of Public Works Division :

3. The roaf along the Kuma river has some sections for which we were assured of national subsidy, and all sections are being carried on as a work spead over years. As it requires a large cost, it is difficult to complete the work immediately with this prefecture's fund.

A. - Chief of Sanitation Division :

4. The first thing we note in farming village sanitation is that the unit cost of living is low and labor is excessive. We wish to stimulate the improvement of their actual life by urging them to increase the quantity of albumin and fat they take and elevating their sanitation thought by means of movies, magazines, posters, etc.

Q. - Hirai :

1. Have you no intention to promote the present Agricultural Administration Section to a Division simultaneously with the promotion of Forestry Section ?

2. Pertaining to the establishment of a synthetic experimental farm.

3. Have you no policy for educational expenses which are increasing year after year ?

4. Have you any intention to send school-teachers for inspection of education to the United States ?

A. - Governor :

1. I agree with you as to the purport of the promotion of the Agricultural Administration Section. However, it has not generally been approved yet.

2. As to the establishment of a synthetic experimental farm, the Ministry of Agriculture don't seem to be positive. So we require further research on the matter.

A. - Superintendent of Education :

3. The present fund does not meet the new school system. Though we have no remedy for it at present, we will make more research and effort about this problem.

4. The present education system in Japan has been made after that of the United States. Education in Japan has its strong points. So we desire have such financial condition as we may send teachers not only to the United States but also England for inspection.

March 17 The session was opened at 10.55

Q. - Takata :

1. It is said that the 1951-52 fiscal year budget is a framework budget. Are you sure of obtaining the source of revenue for giving flesh to it ?

2. Pertaining to the synthetic development of the Kuma river.

3. Governor's view on national defence.

4. Pertaining to the problem of bereaved families.

A. - Governor :

1. I am looking forward to a quick increase of the equalization fund and reform of administrative work.

2. I intend to finish the investigation as to the synthetic development of the Kuma river within the 1951-52 fiscal year. Counterpart fund and deposit fund will be appropriated to it. I desire this development will not be depayed. But I can't say now when it will be completed.

3. As to the problem of rearmament, I will not express my opinion as a responsible person.

4. I will make my utmost efforts for the welfare of bereaved families in the future as I have hitherto done.

Q. - Yamano :

1. Pertaining to the promotion of farm-village industry.

2. Encouragement on the extension of daily-farming.

3. Inspection tour to the United States by first-grade leaders of agriculture.

A. - Governor :

1. Precision industry is not suited to farming or mountainous villages because of temperature and other reasons. I intend to foster industries which are closely connected with farm-villages.

3. As to the future plan concerning agricultural leaders' tour I will do as you say if possible.

A. - Chief of Economic Division :

2. As to dairy farming, I desire to promote it to processing industry. I will make efforts for it as I have hitherto done.

Q. - Araki :

1. Destruction of Ono-mura Citizen's Public Hall by fire.

2. Welfare of the physically handicapped.

3. Policy for fishing in the Shiranui waters.

A. - Governor :

3. We are setting up a sardine fishing increase committee.

A. - Chief of Sanitation Division :

1. It is a matter of great regret that some time ago there were some casualties in the fire of Ono-mura citizen's public hall, Ashikita-gun, which was caused by an ignited movie film. As the result of an investigation, it became clear that an unlicensed

projectionist was operating the film. We will maintain stricter control over such projection.

A. - Chief of Welfare Division :

2. There are physically handcapped persons totaling about 14,000 in the prefecture. Most of them are war victims and we extend sympathy to them. It is regrettable from racial viewpoint that the people of Japan give them no basic consideration. The present measures chiefly aim at facilitating their self-supporting rather than temporary relief.

Supplementary Bill No. 1 and 2 were presented.

Q. - Tateishi :

1. Synthetic development of Aso.

2. Enterprise tax.

3. Policies for small and medium enterprises.

A. - Governor :

1. The Economic Stabilization Board was investigating the synthetic development of Aso and it was decided that the Ministry of Agriculture would join in re-investigating the development in accordance with the national land development law. When a concrete plan is drawn up is unknown. However, the ESB and Ministry of Agriculture are giving a priority consideration to Aso.

3. As to strengthening of small and medium enterprises, it is considered appropriate to unite up small-scale industries and organization of unions is being encouraged.

A. - Chief of General Affairs Division :

2. No enterprise tax is imposed on a carpenter and only a labor income tax is imposed when he is a day-laborer. But when he is a contractor-carpenter he must pay an enterprise tax. Under actual circumstances, however, most carpenters are also contractors. So it is difficult to make a clear distinction between the both kinds of carpenter.

Q. - Kato :

1. I hear that the Governor was recommended by both the Socialists and Democrats in the coming election.

May I understand that the Governor's policies are in accord with those of both the parties ?

2. Is it impossible to abolish amusement tax, eating and drinking tax and lodging tax in school excursion ?

3. Personnel change of teachers.

A. - Governor :

1. Those policies in question are problems of the Central Government. Local governments are naturally different from the Central Government in their nature. I recognize the 10-point programs which the Socialists introduced are very important and I only told that I had hitherto made efforts for the same.

A. - Chief of General Affairs Division :

2. Though the eating and drinking tax is a problematical tax, I ask you to cooperate with us in collecting the tax. It is nationally desired that this tax should be classified as a direct tax. It is based on an American thought to stimulate political interest of the nation. We are now studying as to dealing with the lodging tax in school excursion which cannot be exempted under the present tax system.

A. - Superintendent of Education

3. Policy personnel change of teachers this year is not different from last year. Owing to raised wage base and curtailment of expenditure a number of high-salaried teachers will be dismissed. But there will be no special change for this year.

Q. - Horikawa :

1. About the rearrangement of administrative business from the central government and the reform of administrative organization.

2. About farming village economy.

3. About restoration of sericulture and silk-reeling industry.

A. - Governor :

1. It is reported that an advice was given to the Japanese government about the rearrangement of administrative business and the problem has come to the stage whether the government will accept and

enforce the distribution at once. We wish to promote it by all means. The reform of administrative organization which is closely related to the business distribution, I think, should be enforced after we are assured of the rearrangement of business.

2. In view of the fact that while production increased, economy became tight in farming villages, we are trying to make our way toward gradual but all-out promotion of deyelopment policies based on industrial conditions of each village and town.

3. There are voices demanding subsidies and loans for the restoration of sericulture and silk-reeling, but as circumstances indicate the difficulty of acquiring subsidies, we intend to concentrate our efforts on loans. The recent tendency of increase of demands for silk is spurring the will for increased production, so we hope to make the most of this opportunity to restore the industry.

Q. - Iida :

1. About the difficulty in procuring superphosphate.

2. About establishing an agricultural college collateral to the university.

3. About road problems.

A. - Governor :

1. To breake the difficulty in procuring fertilizers, we are consulting with agriculture cooperative associations and trying hard to collect information materials as early as possible with the intention of applying to the central government hand in hand with all the other prefectural governors of Kyushu.

2. Installation of an agricultural college is our hearty desire, but the result of our negotiation with Education Ministry tells us that the ministry authorized only such ones as installed basing on a school of the grade upwards of higher specialized school in the old school system, so in this prefecture where there was not a higher agricultural school before, our hope cannot be materialized immediately.

3. Although we are doing our best in public work administration, the result is not satisfactory because of the negligence during the war and the financial difficulty in recent years as I explained repeatedly.

The session was closed at 18.11

19th March

The session was resumed at 14.18

Supplementary bills No. 3 and 4 were introduced and the voting resulted in yes.

Q. - Tachibana :

1. Abour the reinforcement of coastal embankments.

2. The average age of teacher consultants and school directors is young, is this satisfactory ?

3. About the retirement age of schoolmasters.

4. Have you no will to abolish the school district system and the five day school system ?

A. - Governor :

1. We had been asking the central government to increase the rehabilitation fund for Kezea typhoon and has been approved of the request recently. So we will perform the reinforcement according to grades of urgency.

A. - Vice-Superintendent of Education Board :

2. The stand-point of school directors and teacher consultants differs greatly from that of school inspectors in the past; we make it a rule to appoint to these posts the most capable of educaters.

3. Your opinion is that if the retirement age of school masters is set at 55 they will be able to prepare themselves for retirement and so devote themselves to their duty. We are following the principle of School Committee and are aiming at reform and elevation with the least change and trabsfer necessary.

4. We don't wish to abolish the school district system and the five day school system at once.

Q. - Morioka :

1. I hear that there was a request about personal affairs in the Governor's agreement with Social party, is it true ?

2. Have you no will to absorb the discharged non-qualified assitant teachers into the prefectural government office ?

3. What is the opinion of Education Board about this ?

4. About scholarship funds for children of teachers.

A. - Governor :

1. I declare there was absolutely no agreement about personal affairs.

2. As for the problem of assistant teachers, I am ready for consultation if the Board will.

A. - Vice-Superintendent of Education Board :

3. The discharge of assistant teachers is of course not disirable, but this is an inevitable step because there are many qualified teachers. For their relief we will make efforts as far as possible.

4. We are not paying special consideration for scholarships for children of teachers.

Q. - Yamato :

1. During the general interpellation, there were questions with the nature of political quarrel. What is the Governor's aspiration for prefectural administration ?

2. How is the Governor determined about asking the central government for the equalization fund ?

A. - Governor :

1. As a citizen of this prefecture, I pray that the prefecture will not be a prefecture of political struggle as before.

2. I will make sufficient efforts to increase the allotment of the equalization fund.

Closed at 15.34

23rd March

The session was resumed at 15.40 with reports by chairman of respective standing committees. Then the assembly proceeded to voting which resulted in the passing of all the

introduced bills (Bills No. 1 to 61 and Supplementary Bills No. 1 and 2) without amendment.

The assembly also approved or passed the followings before it rose at 16.15 :

a. The Governor's intention to resign.

b. 2 affairs to be consulted on.

c. Bills No. 1 to 3 presented by the assemblymen.

d. Nomination of an inspection committee member.

Closing Address by the Chairman

Address by the Governor

Annexed sheet No. 1

IV. List of attendants of members

Order of the day	Date	Week-day	Democrat	Liberal	Socialist	Unattached	Total
1st day	Mar. 8	Thurs.	26	16	2	5	49
2nd "	" 9	Fri.	Recess				
3rd "	" 10	Sat.					
4th "	" 11	Sun.	Recess				
5th "	" 12	Mon.	24	16	2	4	46
6th "	" 13	Tues.	23	14	2	5	44
7th "	" 14	Wed.	24	14	2	5	45
8th "	" 15	Thurs.	24	14	2	5	45
9th "	" 16	Fri.	25	15	2	6	48
10th "	" 17	Sat.	24	16	2	6	48
11th "	" 18	Sun.	Recess				
12th "	" 19	Mon.	23	14	2	6	45
13th "	" 20	Tues.	27	18	2	6	53
14th "	" 21	Wed.	Public holiday				
15th "	" 22	Thurs.	27	18	2	6	53
16th "	" 23	Fri.	27	18	2	6	53

Annexed sheet No. 2

V. Agenda

No. 1 Kumamoto prefecture annual revenue and expenditure budget for 1951 fiscal year.

No. 2 Kumamoto prefecture annual disaster relief funds revenue and expenditure budget for 1951 fiscal year.

No. 3 Kumamoto prefecture annual owner farmers encouragement funds revenue and expenditure budget for 1951 fiscal year.

No. 4 Kumamoto prefecture annual senior high school practical training funds revenue and expenditure budget for 1951 fiscal year.

No. 5 Kumamoto prefecture annual local horse race expenses revenue and expenditure budget for 1951 fiscal year.

No. 6 Establishment of regulations concerning compensation of costs for members of Kumamoto prefectural child welfare council.

No. 7 Establishment of Kumamoto Prefectural regulations concerning breeding and collection of commission for breeding.

No. 8 Establishment of regulations concerning the collection of commission for assistance in sale and purchase by Kumamoto Prefectural Industry Hall.

No. 9 Establishment of regulations concerning the collection of commission for drying lumber in Kumamoto Prefectural Industry laboratory.

No. 10 Establishment of regulations concerning the collection of rent for use of Kumamoto prefectural industry laboratory facilities.

No. 11 Establishment of enforcement regulations of Kumamoto Prefectural Building Standard Law.

No. 12 Establishment of regulations revising a part of temporary payment regulations of retirement allowance for Kumamoto Prefectural personnel.

No. 13 Establishment of regulations revising a part of regulations concerning the regular member of Kumamoto prefectural personnel.

No. 14 Establishment of regulations revising a part of Kumamoto prefectural tax regulations.

No. 15 Establishment of regulations revising a part of regulations concerning consignment and consignment fee of cattle entrusted to Kumamoto prefectural live-stock breeding farm.

No. 16 Establishment of regulations revising a part of regulations of collecting school fee of prefectural schools.

No. 17 Establishment of regulations relating to the abolition of collecting charge for processing entrusted to Ozu joint workshop under the management of the prefecture.

No. 18 Floatation of a loan of educational expenses. (Restoration expenses of Amakusa Agricultural Senior high School)

No. 19 Ditto (restoration expenses of fire destroyed school)

No. 20 Floatation of a loan of social and labor institutes expenses. (unemployment counter measure works expenses)

No. 21 Floatation of a loan of Health and Sanitation (Expenses for building tuberculosis sanatorium)

No. 22 Floatation of a loan of public works expenses. (Bridge re-construction expenses defrayed by prefectural funds alone)

No. 23 Ditto (Road improvement expenses)

No. 24 " (Bridges reconstruction expenses)

No. 25 " (Bridges repair expenses)

No. 26 " (Gravel roads repair expenses)

No. 27 " (Paved roads repair expenses)

No. 28 " (Road damage counter measure expenses)

No. 29 " (River maintenance expenses)

No. 30 " (Medium and small rivers repair expenses)

No. 31 " (Sand-guards expenses)

No. 32 " (Harbor repair expenses)

No. 33 " (Expenses for restoration works of damages caused by calamities)

No. 34 " (Coastal embankment repair expenses)

No. 35 " (Harbor rearrangement expenses)

No. 36 " (People's houses building expenses)

No. 37 " (Streets works expenses)

No. 38 " (Important main road works expenses)

No. 39 Floatation of a loan of Industrial and economic expenses. (Land improvement works expenses)

No. 40 Ditto (Osaya coast drainage beneficial works expenses)

No. 41 " (Fishing port repair expenses)

No. 42 " (Moorage repair expenses)

No. 43 " (Forest products carrying out facilities expenses)

No. 44 " (Inner private forest development facilities expenses)

No. 45 " (Wasted forests restoration expenses)

No. 46 " (Expenses for aforestation of head-waters forest)

No. 47 Floatation of a loan of expenses for reconstruction and rehabilitation of damaged (Subsidy from National Treasury for 1948 fiscal year, expenses for restoration works of Damages caused by Calamities)

No. 48 Ditto
(Expenses for restoration works of damages, subsidy from prefectural funds alone 1949 fiscal year.)

No. 49 Ditto
(Expenses for restoration works of damages, for 1949 fiscal year, subsidy from prefectural funds alone)

No. 50 Ditto
(Expenses for restoration works of damages for 1950 fiscal year, subsidy from prefectural funds alone)

No. 51 Ditto
(Expenses for restoration works of damages for 1950 fiscal year, subsidy from National Treasury)

No. 52 Ditto
(Expenses for restoration works of damaged harbors)

No. 53 Ditto
(Expenses for restoration works of damaged fishing ports)

No. 54 Floatation of a loan of educational funds.
(Building expenses of Kumamoto senior high school)

No. 55 Ditto
Expenses for restoration works of Kumamoto industrial high school)

No. 56 (Short-term) temporary borrowing money.
(General account)

No. 57 Change of continuing term and payment of Kumamoto Prefectural industrial and economic expenses.

~~No. 57~~ (Expenses for aforestation for conservation of head-waters)

No. 58 Ditto
(Expenses for aforestation in commemoration of the 2600 the year after the Acession of the Emperor Jimmu)

No. 59 Kumamoto Prefecture Annual revenue and expenditure budget for 1951 fiscal year.

No. 60 ditto
(For carrying-forward of the works)

No. 61 Floatation of a loan of educational expenses
(restoration works expenses of fire destroyed school)

No. 62 Kumamoto prefecture annual revenue and expenditure supplementary budget for 1950 fiscal year.

No. 63 Kumamoto prefecture annual revenue and expenditure revised supplementary budget for 1950 fiscal year.

No. 64 Kumamoto prefecture annual revenue and expenditure supplementary budget, disaster relief fund for 1951 fiscal year.

No. 65 Kumamoto prefecture annual revenue and expenditure supplementary budget, owner farm encouragement funds for 1950 fiscal year.

No. 66 Establishment of regulations concerning special office allowance of Kumamoto prefecture.

No. 67 Establishment of regulations of remuneration and compensation of costs for members of Kumamoto prefectural constructors council.

No. 68 Establishment of regulations of fee collection relative to registration of guns, swords etc.

No. 69 Establishment of regulations revising a part of regulations of payment of salary, travelling expenses and allowance for Kumamoto prefectural governor, vice-governor, superintendent of education, chief cashier and assistant chief cashier.

No. 70 Establishment of regulations revising a part of regulations relative to Kumamoto prefectural remuneration and compensation of costs.

No. 71 Establishment of regulations revising a part of the emergency measures ordinance concerning travelling expenses.

No. 72 Establishment of regulations revising a part of regulations of remuneration and compensation of costs for members of Kumamoto prefectural assembly.

No. 73 Change of floatation of a loan.

No. 74 Change of continuating term and payment methods of Kumamoto prefectural industrial and economic expenses.

No. 75 Ditto

No. 76 Approval of settlement of account of Kumamoto prefecture annual revenue and expenditure, general account and special account for 1949 fiscal year.

Supplement No. 1

Establishment of regulations revising a part of regulation relating to regular number of Kumamoto prefectural assembly in each constiuency.

Supplement No. 2

Establishment of revised partial regulations relating to Kumamoto prefectural divisions establishment regulations.

Supplement No. 3

Asking approval of nomination of Kumamoto prefectural public safety committee.

Supplement No. 4

Kumamoto prefecture annual revenue and expenditure supplementary budget for 1950 fiscal year.

Supplement No. 5

Asking approval of appointment of an inspection committee-member.

Concerning the resignation tendered by the governor.

Consultation No. 1

Asking approval of rivers applied correspondingly.

Consultation No. 2

Asking approval of prefecture roads.

Bills submitted by members of the assembly.

No. 1

Estab lishment of regulations revising a part of the regulations relating to Kumamoto prefectural assembly standing committee and special committee.

No. 2

Written opinion of demand for increased accommodation of fund for lending of cocoon purchasing funds.

No. 3

A resolntion of demand for the firm establishment of local administration and finance.

Remarks: An explanation of the budget by the governor and separate copy of the budget for 1951 fiscal year are annexed herein.

APR 18 1951
246

FOREIGN AFFAIRS SECTION
KUMAMOTO PREFECTURE

FAS # 762,
13 April, 1951.

SUBJECT : Report of Prefectural Assembly Meeting for March

TO : Chief of Legal and Government Section, Kyushu Civil Affairs Region

THROUGH : Kyushu Liaison Co-ordination Office

As regards the aforesaid subject, we beg to submit to you the monthly reports as of enclosure.

Yoshiyuki Matsushita

Yoshiyuki MATSUSHITA

Chief
Foreign Affairs Section,
Kumamoto Pref'l Gov't.

Kumamoto Prefectural Assembly

31 March, 1951

To : Commanding Officer,
Kyushu Civil Affairs Region.

Subject : Report on governmental activity.

We beg to report to you as per inclodure about the March regular session of Kumamoto Prefectural Assembly which was opened for 16 days from 8th to 23rd March, 1951.

Seisuke OKUBO

Chairman,
Kumamoto Prefectural Assembly

(inclosure)

Report on March regular session of
Kumamoto Prefectural Assembly

I. Time of opening: 10 a.m., 8th (Thurs.) March, 1951

II. Period of session: 16 days

1st day: Opening ceremony, introduction of bills, explanation of budget by governor.

2nd day:
3rd " : Recess for studying bills.

4th " : Sunday

5th " : The plenary session trusted Standing Committees with bills for the 1950 fiscal year, then the respective committees held their meetings.

6th " : Reports by chairmen of standing committees, voting, establishment of special committee for recognition of settled accounts.

7th day)
8th ")
9th ") General interpellation
10th ")

11th " : Sunday
12th " : General interpellation
13th " : Meetings of committees
14th " : Vernal Equinox Day
15th " : Meetings of committees
16th " : Report by chairmen of standing committees, voting, closing ceremony.

III. Number of assemblymen:

Fixed: 55 Present: 53

IV. Attendance: See annexed sheet No. 1

V. Agenda: See annexed sheets No. 2

VI. Outline of proceeding:

8th (Thurs.) March

Opened at 12.10, chairman greeted the assembly, declared opening of business and nominated the members for signing the journals.

Bills were introduced en bloc and governor explained the budget as per inclosure.

Closed at 12.35 after the announcement that the plenary session would be recessed on 9th and 10th for members' studying bills and resumed on 12th for discussion.

12th March

Opened at 11.22. Bills (Nos. 62 to 75) for 1950 fiscal year were committed to Respective Standing Committees. The plenary session was recessed at 11.25 for committee meetings.

13th March

Opened at 13.32. Each chairman of standing committee reported the process and result of investigation and unanimous approval of bills. Then the plenary session approved the reports unanimously.

It was motioned and agreed to establish a special committee for recognition of settled accounts of annual revenue and expenditure for 1949 fiscal year, in both general and special accounts. 10 members of the special committee were nominated by chairman. Closed at 14.45

14th March

Opened at 11.25 for general interpellation.

Q. - Morioka (Question by Mr. Morioka):

1. About 1951 fiscal year budget.
2. About the regulation of morale of officials.
3. About political activity by local public servants.
4. About farming, forestry and fishing industries.
5. About lightening the burden of taxation.
6. About the expenditure for roads maintained by the prefecture alone.

A. - Governor (Answer by Mr. Sakurai):

1. 1951 fiscal year budget was compiled as a skeleton budget; this is a different thing from my running for the gubernatorial election. I consider it adequate that it will be given flesh by the new governor.
2. I have made efforts for that. In the past 4 years, 27 prefectural officials were punished, including prosecution, under investigation, violation, dismissal.and disciplinary punishment.
3. The fact that the union of employees of the prefectural government resolved on 12th February to recommend me for the next governorship had not been informed to me beforehand, but I think the act is not illegal.
4. My policies during the past 4 years were almost concentrated on the farming, forestry and fishing industries.
5. In the 1951 fiscal year budget, office expenses are cut off by about one third.

A. - Chief of Public Works Division:

6. Budgets for roads to be maintained by the prefecture alone are reduced by nearly 30 per cent. This is of course insufficient, but is inevitable due to financial reasons.

Q. - Futagami:

1. About the reorganization of Divisions and Sections of the prefecture government.
2. About exploitation of electric sources and development of industry.

3. How to make the most of the results of the industrial development plan.

4. About measures to develop dairying.

A. - Governor:

1. Reorganization of Divisions and Sections is expected in the near future, for there will be rearrangement of business accompanying the tax system reform. I think the reorganization should be in a synthetic direction, and so hope you will allow me a little more time. I am thinking the Forestry Division should be established immediately.

2. Exploitation of electric sources should be materialized immediately and led into synthetic exploitation so that surplus population can be absorbed into lime and vinyl industries.

3. The industrial development 4 year plan could in general achieve the expected out put mark of each industry; I wish to round up this rationally under an over-all plan for each village or town.

A. - Chief of Economic Division:

4. Dairying has kept steady progress, but at the present time the running of the industry is not quite satisfactory. So I wish to make efforts to bring forth the manufacture industry of dairy products.

With the above, the session was closed at 15/30

15th March

General interpellation was resumed at 11.30

Q. - Iwao:

1. About the synthetic expoitation of the Kuma district.

2. About financial measures as an economic policy.

3. About stockbreeding.

4. About counter-measures for second and third sons of farmers.

5. About education problems.

A. - Governor:

1. The exploitation plan is a gigantic synthetic plan centering on power generation. It will need more than 10 b billion yen in the construction of power facilities alone,

and so it requires sufficiently careful basic investigations and close collaboration of the local people. Therefore, I wish to continue investigations and make an effort to call out the collaboration of the local people.

2. I am of opinion that to speak fundamentally, administration, finance and enterprise have their own independent responsibilities respectively, but I have tried every possible collaboration, that is to say I have collaborated in the operation of annual account funds through the Central Commerce and Industry Financing Bank, the Credit Insurance Association and the Prefectural Federation of Credit Associations; and also in lending production facilities.

4. Counter-measures for second and third sons of farmers are a national problem. In this prefecture the situation is rather less serions. I believe there will comparatively soon be found a solution for the question by the final effects of the industrial development 4 year plan.

A. - Chief of Economic Division:

3. In stockbreeding, we are not content with an increase in number only. We are practivally contemplating to improve stocks, extend poultry-raising and set up factories to manufacture dairy products into goods.

A. - Superintendent of Education Board:

5. We will make efforts so that graduates from vocational schools can be of use in the world at once.
As for generalization of juxtaposition of special courses, we will consider after we see the results of those established this year.

Q. - Sonoda:

1. How will you make up the decrease of about ¥700,000,000 in annual revenue in the 1951 fiscal year budget?

2. About the stopping of subsidies to cities, towns and villages.

3. What measures do you adopt in road administration under the compressed budget for 1951 fiscal year?

4. About installing branches of the prefectural library.

5. About strengthening social education.

A. - Governor:

1. The overstimation in annual revenue in the 1951 budget is based on the assumption that the limit of floating

loans will be expanded and the assignment to this prefecture of the equalization fund will be increased.
To consider fundamentally, there should be a rearrangement of administrative business hand in hand with the tax reform; under the present situation, I think, the assignment of the equalization fund should of course be increased.

2. Stopping of subsidies to cities, towns and villages is chiefly because such subsidies were changed to assignments of the equalization fund or it became that there were no works; those stopped by reason of the budget compilation policy are only a few. For these we are ready to reconsider in future.

3. The compressed budget for road administration is really inevitable because of finance. We will make efforts to get most effect with least budget.

A. - Superintendent of Education Board:

4. Installation of branches of the prefectural library in necessary places is what we dream of and crave for, but the financial situation at present does not allow it.

5. We hope to improve and replenish social education officials.

Q. - Okazaki:

1. Has the governor no intention to appoint a sole chief of Labor Division?

2. How about establishing an evening university in the Jonan district?

3. How to treat the new Constitution in school education.

A. - Governor:

1. The post of chief of Labor Division will be filled up as soon as an adequate person is found.

2. If an evening university is established in the Jonan district, I hope to subsidize it.

A. - Superintendent of Education Board:

3. Because of the change in the situation in general from the time of the enactment of the new constitution, there has been given rise to the assertion of rearmament and so the question requires serious consideration. However, as long as the present constitution is existent, we have to exercise education in accordance with it. Changes in the situation are taught in lessons of social course.

Q. - Togami:

1. About road administration.

2. Have you no will to abolish the charges imposed on vehicle owners for damaging roads?

3. About forestry and reclamation.

A. - Governor:

1. I fully agree to your opinion that the completion of roads is indispensable for the present society. Although we are amidst an extreme financial difficulty, we will make every possible effort.

2. There seems to be a contradiction in your opinion in connection with the abolition of charges for road damages. In view of the present financial situation I consider the charges should be paid.

A. - Chief of Farmland Division:

3. It will be reasonable to think of improvement of already cultivated lands instead of reclamation of uncultivated lands at public expense, but reclamation is a national policy in order to increase the absolute amount of food production and to give a vocation to repatriates from overseas. The work was performed according to the reclamation program which was well-adjusted with forestry plannings.

A. - Chief of Economic Division:

3. As for forestry, demands are exceeding the growth of trees at present. So, in order to prevent devastation of lands, the Forestry Law was amended recently. There will no longer be encroachment on forestry by reclamation.

Q. - Kuramitsu:

1. About the stabilization of economy in farming villages.

2. About the improvement of roads.

3. About an increase in the number of agricultural technical guiders.

A. - Governor:

1. As for taxes on farmers, we are negotiating with National Tax Board and making efforts to adjust taxation principles so that previous allotments of quota may not be used as bases for taxation but taxation may strictly be based on actual incomes.

The rise in prices of fertilizers is our worry. We will actively assist farmers and take adequate steps such as assistance in acquiring funds, persuasion to prevent hoarding, negotiation with banking organs as regards the utilization of agricultural bills.

A. - Chief of Public Works Division:

2. As for the improvement of roads, we will make efforts after we studied the situation in other prefectures.

A. - Chief of Economic Division:

3. We also long to have an agricultural technical guider in each village and town.
But by reason of financial sources, the rate of subsidy for this purpose by the national treasury does not meet the actual requirement, and besides the allocation of the equalization fund lacks flexibility at present.
So we will make more efforts.

The session was closed at 16.33

16th March

General interpellation was resumed at 11.08

Q. - Tsutsumida :

1. About the improvement of treatment of teachers

2. About fishery problems

3. About fuel for fishing

4. About the circular road of Amakusa

5. About the repair of fishing ports

A. - Governor :

1. I express my thanks for your kind-hearted request for the improvement of treatment of teachers. As I had made efforts in the past, I have tried hard to do everything possible for that purpose in the 1951 budget, too. Towns and villages have as tight budgets as the prefecture; so the present situation prohibits me from asking for their financial collaboration.

2. The depression in sardine fishing is my worry. But as the scarcity of fish is considered to be a temporary phenomenon, we are trying to solve the knot from the financial side.

3. I too recognize the fact that we are facing a difficults situation as regards fuel for fishing. This is a national difficulty and cannot be relieved immediately. We are making efforts to extend the frame of allotment and to encourage utilization of substitute fuels.

4. The circular road of Amakusa is included in the synthetic exploitation program of Amakusa and so is being treated as an over-all problem.

5. As an investigation is being made about fishing ports, we hope to carry out the repair in turn.

Q. - Yamanaka :

1. Is the Governor not neglecting self-examination of his administration ?

2. Has the Governor sufficient recognition of the Local Public Service Law ?

3. About the relation between the political association formed by Teachers Union and the Local Public Service Law.

4. About sightseeing.

5. About construction of houses of lower rents.

6. About the actual situation of crimes in the prefecture.

A. - Governor :

1. The prefectural administration is continuously examined and reconsidered by the prefectural assembly every other month. As for the industrial 4-year plan. We are summing up the results.

2. That the governor inspects throughout the prefecture is not political activity but is prefectural administration.

3. Prefectural Employees Union is organized by prefectural employees who at the same time are citizens. So I consider their activity within the limit recognized by law is not objectionable.

4. I am sufficiently concerned about sightseeing. Sightseers are increasing year by year.

5. It has been informally decided to build 120 houses in 1951 fiscal year, and we are requesting the central government to build 500 houses as " shomin jutaku " (citizens' residenses).

A. - Chief of Police :

6. When seen from the number of crimes, the prefecture is not inferior to many other prefectures. But the prefecture ranks fifth in the crime of injury, tenth in homicide and 16th in violence.

Q. - Yoshimoto :

1. About social education :

2. About coastal embankments.

3. About Tasaki railroad-crossing.

4. About fishing in beaches.

A. - Governor :

1. I agree with you in longing for healthy development of women's associations, youths' associations and PTAs as reliable foundation for the reconstruction of democratic Japan. We will collaborate in this, fully taking into consideration the opinion of Education Board.

2. I hear that the central government is drafting a law concerning the management of coastal embankments. At present, the rule is that the prefecture, after passing a resolution, controls roads that are accompanied by national subsidies.

A. - Chief of Public Works Division :

3. Resultant from our successfull lobbying, Tasaki railway-crossing will be reconstructed at the cost of ¥ 75,000,000 of which ¥ 18,000,000 will be borne by the state railway, a half of the remaining ¥ 57,000,000 subsidized by the national treasury, and the other half borne by locally. Kumamoto city will bear a part of it. In the first year (1951), ¥ 20,000,000 is budgeted. The work is to improve 22 metres in width and 1,320 metres in length.

A. - Chief of Economic Division :

4. In view of the large ratio that beach fishing occupys in fishery in this prefecture, the prefectural fisheries experimental station is performing experiments in breeding. The prefecture has Seeds Raising Station, too. We will utilize these facilities and try to achieve good results.

Q. - Izumi :

1. About the exploitation of power source in the river-head of the Kuma.

2. About Hitoyoshi Branch of Prefectural Industrial Laboratory, and Prefectural Stockbreesing Farm.

3. About the road along the Kuma river.

4. About improvement of health sanitation in farming villages.

A. - Governor :

1. We are carrying on fundamental investigations. As the construction of the dam will submerge some villages,

the plan requires collaboration of the local people. We will take adequate steps after we have listened sufficiently to opinions of the people of the Hitoyoshi and Kuma districts.

A. - Chief of Economic Division :

2. In answer to your assertion to replenish Hitoyoshi Branch of Industrial Laboratory, I wish to say that although the branch cannot be said to have not fullfilled its function, its officials are busied solely in guidance on the spot. This may be regarded to be indicating the lack of investigation at the time of its establishment, and so requires sufficient consideration. Stockbreeding Farm is managed by Shinkokai (Promotion Association), and so we wish to encourage its good sides.

A. - Chief of Public Works Division :

3. The roaf along the Kuma river has some sections for which we were assured of national subsidy, and all sections are being carried on as a work spead over years. As it requires a large cost, it is difficult to complete the work immediately with this prefecture's fund.

A. - Chief of Sanitation Division :

4. The first thing we note in farming village sanitation is that the unit cost of living is low and labor is excessive. We wish to stimulate the improvement of their actual life by urging them to increase the quantity of albumin and fat they take and elevating their sanitation thought by means of movies, magazines, posters, etc.

Q. - Hirai :

1. Have you no intention to promote the present Agricultural Administration Section to a Division simultaneously with the promotion of Forestry Section ?

2. Pertaining to the establishment of a synthetic experimental farm.

3. Have you no policy for educational expenses which are increasing year after year ?

4. Have you any intention to send school-teachers for inspection of education to the United States ?

A. - Governor :

1. I agree with you as to the purport of the promotion of the Agricultural Administration Section. However, it has not generally been approved yet.

2. As to the establishment of a synthetic experimental farm, the Ministry of Agriculture don't seem to be positive. So we require further research on the matter.

A. - Superintendent of Education :

3. The present fund does not meet the new school system. Though we have no remedy for it at present, we will make more research and effort about this problem.

4. The present education system in Japan has been made after that of the United States. Education in Japan has its strong points. So we desire have such financial condition as we may send teachers not only to the United States but also England for inspection.

March 17 The session was opened at 10.55

Q. - Takata :

1. It is said that the 1951-52 fiscal year budget is a framework budget. Are you sure of obtaining the source of revenue for giving flesh to it ?

2. Pertaining to the synthetic development of the Kuma river.

3. Governor's view on national defence.

4. Pertaining to the problem of bereaved families.

A. - Governor :

1. I am looking forward to a quick increase of the equalization fund and reform of administrative work.

2. I intend to finish the investigation as to the synthetic development of the Kuma river within the 1951-52 fiscal year. Counterpart fund and deposit fund will be appropriated to it. I desire this development will not be depayed. But I can't say now when it will be completed.

3. As to the problem of rearmament, I will not express my opinion as a responsible person.

4. I will make my utmost efforts for the welfare of bereaved families in the future as I have hitherto done.

Q. - Yamano :

1. Pertaining to the promotion of farm-village industry.

2. Encouragement on the extension of daily-farming.

3. Inspection tour to the United States by first-grade leaders of agriculture.

A. - Governor :

1. Precision industry is not suited to farming or mountainous villages because of temperature and other reasons. I intend to foster industries which are closely connected with farm-villages.

3. As to the future plan concerning agricultural leaders' tour I will do as you say if possible.

A. - Chief of Economic Division :

2. As to dairy farming, I desire to promote it to processing industry. I will make efforts for it as I have hitherto done.

Q. - Araki :

1. Destruction of Ono-mura Citizen's Public Hall by fire.

2. Welfare of the physically handicapped.

3. Policy for fishing in the Shiranui waters.

A. - Governor :

3. We are setting up a sardine fishing increase committee.

A. - Chief of Sanitation Division :

1. It is a matter of great regret that some time ago there were some casualties in the fire of Ono-mura citizen's public hall, Ashikita-gun, which was caused by an ignited movie film. As the result of an investigation, it became clear that an unlicensed

projectionist was operating the film. We will maintain stricter control over such projection.

A. - Chief of Welfare Division :

2. There are physically handcapped persons totaling about 14,000 in the prefecture. Most of them are war victims and we extend sympathy to them. It is regrettable from racial viewpoint that the people of Japan give them no basic consideration. The present measures chiefly aim at facilitating their self-supporting rather than temporary relief.

Supplementary Bill No. 1 and 2 were presented.

Q. - Tateishi :

1. Synthetic development of Aso.

2. Enterprise tax.

3. Policies for small and medium enterprises.

A. - Governor :

1. The Economic Stabilization Board was investigating the synthetic development of Aso and it was decided that the Ministry of Agriculture would join in re-investigating the development in accordance with the national land development law. When a concrete plan is drawn up is unknown. However, the ESB and Ministry of Agriculture are giving a priority consideration to Aso.

3. As to strengthening of small and medium enterprises, it is considered appropriate to unite up small-scale industries and organization of unions is being encouraged.

A. - Chief of General Affairs Division :

2. No enterprise tax is imposed on a carpenter and only a labor income tax is imposed when he is a day-laborer. But when he is a contractor-carpenter he must pay an enterprise tax. Under actual circumstances, however, most carpenters are also contractors. So it is difficult to make a clear distinction between the both kinds of carpenter.

Q. - Kato :

1. I hear that the Governor was recommended by both the Socialists and Democrats in the coming election.

May I understand that the Governor's policies are in accord with those of both the parties ?

2. Is it impossible to abolish amusement tax, eating and drinking tax and lodging tax in school excursion ?

3. Personnel change of teachers.

A. - Governor :

1. Those policies in question are problems of the Central Government. Local governments are naturally different from the Central Government in their nature. I recognize the 10-point programs which the Socialists introduced are very important and I only told that I had hitherto made efforts for the same.

A. - Chief of General Affairs Division :

2. Though the eating and drinking tax is a problematical tax, I ask you to cooperate with us in collecting the tax. It is nationally desired that this tax should be classified as a direct tax. It is based on an American thought to stimulate political interest of the nation. We are now studying as to dealing with the lodging tax in school excursion which cannot be exempted under the present tax system.

A. - Superintendent of Education

3. Policy personnel change of teachers this year is not different from last year. Owing to raised wage base and curtailment of expenditure a number of high-salaried teachers will be dismissed. But there will be no special change for this year.

Q. - Horikawa :

1. About the rearrangement of administrative business from the central government and the reform of administrative organization.

2. About farming village economy.

3. About restoration of sericulture and silk-reeling industry.

A. - Governor :

1. It is reported that an advice was given to the Japanese government about the rearrangement of administrative business and the problem has come to the stage whether the government will accept and

enforce the distribution at once. We wish to promote it by all means. The reform of administrative organization which is closely related to the business distribution, I think, should be enforced after we are assured of the rearrangement of business.

2. In view of the fact that while production increased, economy became tight in farming villages, we are trying to make our way toward gradual but all-out promotion of development policies based on industrial conditions of each village and town.

3. There are voices demanding subsidies and loans for the restoration of sericulture and silk-reeling, but as circumstances indicate the difficulty of acquiring subsidies, we intend to concentrate our efforts on loans. The recent tendency of increase of demands for silk is spurring the will for increased production, so we hope to make the most of this opportunity to restore the industry.

Q. - Iida :

1. About the difficulty in procuring superphosphate.

2. About establishing an agricultural college collateral to the university.

3. About road problems.

A. - Governor :

1. To breake the difficulty in procuring fertilizers, we are consulting with agriculture cooperative associations and trying hard to collect information materials as early as possible with the intention of applying to the central government hand in hand with all the other prefectural governors of Kyushu.

2. Installation of an agricultural college is our hearty desire, but the result of our negotiation with Education Ministry tells us that the ministry authorized only such ones as installed basing on a school of the grade upwards of higher specialized school in the old school system, so in this prefecture where there was not a higher agricultural school before, our hope cannot be materialized immediately.

3. Although we are doing our best in public work administration, the result is not satisfactory because of the negligence during the war and the financial difficulty in recent years as I explained repeatedly.

The session was closed at 18.11

19th March

The session was resumed at 14.18

Supplementary bills No. 3 and 4 were introduced and the voting resulted in yes.

Q. - Tachibana :

1. Abour the reinforcement of coastal embankments.

2. The average age of teacher consultants and school directors is young, is this satisfactory ?

3. About the retirement age of schoolmasters.

4. Have you no will to abolish the school district system and the five day school system ?

A. - Governor :

1. We had been asking the central government to increase the rehabilitation fund for Kezea typhoon and has been approved of the request recently. So we will perform the reinforcement according to grades of urgency.

A. - Vice-Superintendent of Education Board :

2. The stand-point of school directors and teacher consultants differs greatly from that of school inspectors in the past; we make it a rule to appoint to these posts the most capable of educaters.

3. Your opinion is that if the retirement age of school masters is set at 55 they will be able to prepare themselves for retirement and so devote themselves to their duty. We are following the principle of School Committee and are aiming at reform and elevation with the least change and trabsfer necessary.

4. We don't wish to abolish the school district system and the five day school system at once.

Q. - Morioka :

1. I hear that there was a request about personal affairs in the Governor's agreement with Social party, is it true ?

2. Have you no will to absorb the discharged non-qualified assistant teachers into the prefectural government office ?

3. What is the opinion of Education Board about this ?

4. About scholarship funds for children of teachers.

A. - Governor :

1. I declare there was absolutely no agreement about personal affairs.

2. As for the problem of assistant teachers, I am ready for consultation if the Board will.

A. - Vice-Superintendent of Education Board :

3. The discharge of assistant teachers is of course not disirable, but this is an inevitable step because there are many qualified teachers. For their relief we will make efforts as far as possible.

4. We are not paying special consideration for scholarships for children of teachers.

Q. - Yamato :

1. During the general interpellation, there were questions with the nature of political quarrel. What is the Governor's aspiration for prefectural administration ?

2. How is the Governor determined about asking the central government for the equalization fund ?

A. - Governor :

1. As a citizen of this prefecture, I pray that the prefecture will not be a prefecture of political struggle as before.

2. I will make sufficient efforts to increase the allotment of the equalization fund.

Closed at 15.34

23rd March

The session was resumed at 15.40 with reports by chairman of respective standing committees. Then the assembly proceeded to voting which resulted in the passing of all the

introduced bills (Bills No. 1 to 61 and Supplementary Bills No. 1 and 2) without amendment.

The assembly also approved or passed the followings before it rose at 16.15 :

a. The Governor's intention to resign.

b. 2 affairs to be consulted on.

c. Bills No. 1 to 3 presented by the assemblymen.

d. Nomination of an inspection committee member.

Closing Address by the Chairman

Address by the Governor